

令和8年度

橋梁長期保全事業

大田代後畑1号橋橋梁補修工事

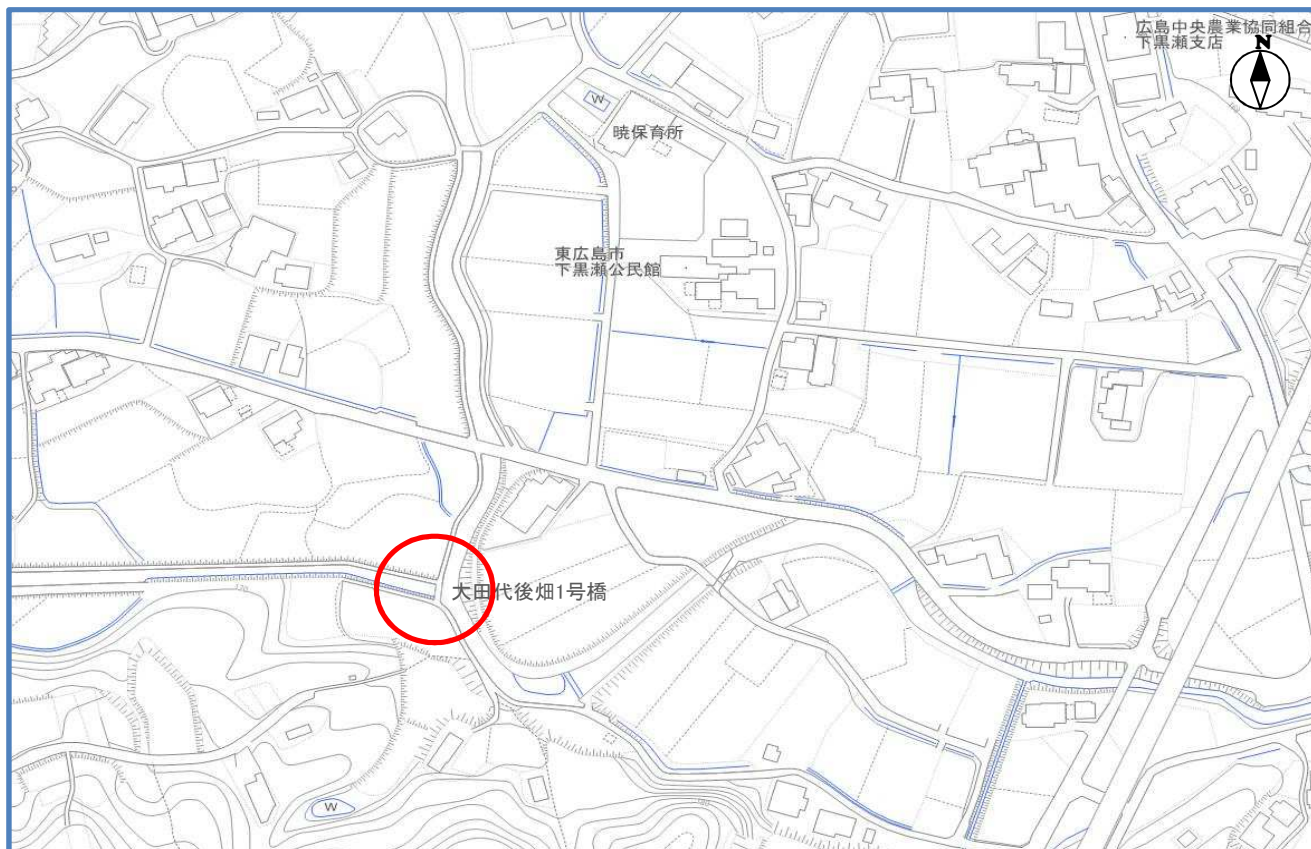
仕様書

施 工 場 所 東広島市黒瀬町津江

町名： 黒瀬町津江



詳細図



特 記 仕 様 書

(令和8年度 橋梁長期保全事業 大田代後畑1号橋橋梁補修工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等 週休2日
12. 建設副産物の取り扱いについて
13. 猛暑時間の施工回避
14. 猛暑日等を考慮した工期延長について
15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

第2章 施工条件

1. 工程
 - (1) 関係機関との協議
2. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
3. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)）
 - (2) アスファルト殻(搬出)
4. その他
 - (1) 塗膜に含まれる鉛等の含有量について
 - (2) 塗膜くず等の処分について
 - (3) 作業主任者
 - (4) 塗膜剥離中の防護について
 - (5) 塗膜剥離試験について

第3章 施工管理

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書(令和7年8月)広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図(施工済み箇所を着色)又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
- (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyoushishutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等 週休2日

本工事は、週休2日適用工事(発注者指定型)であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領(最新版)」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画(5の確認結果票を含む)を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

- 5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成
- 受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。
- ※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。
- なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。
- (1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項
- (1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。
- (2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。
- (3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項
- 6 運搬業者への通知
- 受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。
- 7 確認結果票の掲示及び公表
- 受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
- 8 確認結果票の保管
- 受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。
- 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求
- 受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。
- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日
- 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付
- 受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。
- 11 受領書の内容確認
- 受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。
- 12 受領書の保管
- 受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

13. 猛暑時間の施工回避

1 本工事は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を発注者と協議し設定できる工事である。

2 実施方法は次のとおりとする。

(1) 内容

- ア 受注者は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を監督職員と協議し設定できる。
- イ 作業時間を短縮した場合は、短縮時間に応じて、工期を延長することができるものとする。
- ウ 工事における現地の立会等については、監督職員の勤務時間に合わせるものとする。
- エ 対象期間は、6月1日から9月30日までとする。

(2) 工期延長日数の算出方法

工期の延長日数^{※1}(日)＝短縮時間(時間)×対象期間^{※2}(日)÷8(時間)

なお、猛暑日等による作業不能日とは、別に考慮できるものとする。

※1 小数第1位を切り上げるものとする。

※2 現場閉所日を含む。

3 作業時間の変更に伴う工事費の増額については、設計変更の対象としない。

14. 猛暑日等を考慮した工期延長について

1 本工事は、工期に「猛暑日等による作業不能日」として、休日(土日、祝日、年末年始休暇及び夏期休暇)、降雨降雪日及び猛暑日日数を5日見込んでいる。

「猛暑日等による作業不能日」＝施工に必要な実日数×雨休率

雨休率(休日、降雨降雪日及び猛暑日日数による作業不能日を見込むための係数)： 0.78

雨休率に見込んでいる作業不能日は、次のとおりである。(過去5年間の気象庁及び環境省のデータより年間の平均発生日数を算出)

(1) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日： 31日/年

(2) 8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数： 5日/年

2 ・著しい悪天候や気象状況より「猛暑日等による作業不能日」が当初見込んでいる日数と著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は監督職員へ工期の延長変更を協議することができる。

・受注者は、協議の際に気象庁及び環境省の計測データ等を監督職員へ提出すること。計測データは、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所及び環境省が公表している観測地点を用いることを標準とする。

なお、提出する必要のある様式「猛暑日等による作業不能日算出表」は「広島県の調達情報HP>公共工事等の情報_様式集>建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

・費用は、工期延長日数に応じて「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算」(土木工事標準積算基準書(共通編)第I編総則 第9章)に基づき増加費用を積算し、変更契約において計上する。

15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

- 1 猛暑による厳しい環境下での現場作業※が見込まれる工事を対象とする。
※WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で、連続1時間以上又は1日4時間を超える作業
- 2 受注者は、熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に、迅速かつ的確な判断ができるよう、「緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先や所在地」及び「作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等の熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順」などを施工計画書の「緊急時の体制及び対応」項目に記載するとともに、工事関係者へ周知すること。

第2章 施工条件

1. 工程

(1) 関係機関との協議

協議内容	河川管理者（広島県）と河川占用の許可協議後着手
範囲	橋面工を除く範囲

2. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員は見込んでいない。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の配置が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

3. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

砂・砂質土・礫質土

（名称）	光陽建設株式会社建設発生土リサイクルプラント
（所在地）	東広島市黒瀬町津江字イラスケ21852-5
（運搬距離）	3.4 km

(2) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 7.8 km を見込んでいる。

4. その他

(1) 塗膜に含まれる鉛等の含有量について

本工事の対象橋梁が含有する鉛等の量は次のとおりである。必要な安全対策を施して施工すること。

○含有量試験

【大田代後畑1号橋】

鉛：510mg/kg

総クロム：220mg/kg

ポリ塩化ビフェニル：0.68mg/kg

(2) 塗膜くず等の処分について

塗膜にPCBを0.5mg/kg～100,000mg/kg含有する塗膜くず等は、特別管理産業廃棄物（特別含有管理産業廃棄物）の低濃度PCB廃棄物に当たるため、工事では処分できない。

含有する工事箇所の場合には、発生した塗膜くずと塗膜付着物に分別してドラム管（少量の場合はペール缶）に入れて保管すること。

なお、運搬・処分については、別途発注者側で対応することとしている。

(3) 作業主任者

受注者は塗膜剥離作業中において鉛作業主任者を配置すること。

(4) 塗膜剥離中の防護について

橋梁等の塗料を剥がす作業において、様々な剥離剤が使用されているが、剥離剤に含まれる化学物質への「引火による火災」や「吸入による中毒」事案が頻発している状況にあり、原因物質の中には、特定化学物質障害予防規則（昭和47年労働省令第39号）、有機溶剤中毒予防規則（昭和47年労働省令第36号）などの法令（以下「特化則等」という。）による規制の対象となっている物質以外の物質も含まれている。

このため、塗膜剥離剤を使用する作業において発生した労働災害の事例、剥離剤に含まれる化学物質の危険有害性、剥離剤を使用する作業において講ずべき措置などについて、法令で規制されているか否かにかかわらず、化学物質の危険有害性を踏まえた適正な使用を行うこと。

なお、防護に必要な資材（負圧集塵装置、真空掃除機等）については、現場条件の変更等により数量の変更が必要な場合は、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(5) 塗膜剥離試験について

事前に塗膜剥離試験を行い、現場条件に適した塗膜剥離剤の選定及び剥離剤塗布回数（剥離回数）を設定する。

第3章 施工管理

第4章 その他

1. 工事関係書類

(1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。

(2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和7年8月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
橋梁保全工事		式		1	レベル1
現場塗装工		式		1	レベル2
塗膜除去工		式		1	レベル3
塗膜除去工	塗布回数2回	m2		151	レベル4
廃材回収・積込	塗膜くず	m2		75	レベル4
塗膜除去養生設備・シート設置撤去	シート設置撤去回数2回	m2		67	レベル4
橋梁塗装工		式		1	レベル3
塗替塗装	清掃・水洗い	m2		75	レベル4
素地調整	素地調整2種	m2		75	レベル4
下塗り塗装	防食下地 有機ジンクリッチペイント（2回塗り/層）	m2		75	レベル4
下塗り塗装	下塗り塗装 変性エポキシ樹脂塗料（2層）	m2		75	レベル4
中塗り塗装	中塗り塗装 淡彩 ふっ素樹脂塗料	m2		75	レベル4
上塗り	上塗り塗装 淡彩 ふっ素樹脂塗料	m2		75	レベル4
橋梁補修工		式		1	レベル2
床版設置工		式		1	レベル3
縞鋼板運搬		t		0.9	レベル4
床版設置工		式		1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
高欄設置工		式		1	レベル3
高欄設置工		式		1	レベル4
舗装工		式		1	レベル2
舗装打換え工		式		1	レベル3
上層路盤	RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	m2		2	レベル4
表層	1層当り平均仕上厚50mm	m2		2	レベル4
橋梁付属物工		式		1	レベル2
水切り工		式		1	レベル3
水切り工	EPDM系ゴム	m		14	レベル4
桁端部土留工		式		1	レベル3
基礎材	RC-40	m2		3	レベル4
コンクリート	小型構造物 18N	m3		0.7	レベル4
型枠	一般型枠 小型構造物	式		1	レベル4
床掘り	土砂	式		1	レベル4
埋戻し	土砂	式		1	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3		1	レベル4
残土等処分	[建設発生土] 砂・砂質土・礫質土	m3		1	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 厚15cm以下	式		1	レベル4
舗装版破砕	舗装厚15cm以下	m2		3	レベル4
既設床版・高欄切断工		m		29	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	As殻	m3		0.1	レベル4
現場発生品運搬	綯鋼板、高欄	式		1	レベル4
殻処分	アスファルト殻	t		0.3	レベル4
殻処分	スクラップ	t		0.9	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
視線誘導標撤去再設置		式		1	レベル3
視線誘導標撤去再設置		本		2	レベル4
仮設足場工		式		1	レベル3
吊り足場	朝顔両側設置	式		1	レベル4
環境対策資機材	負圧集塵装置、吸気・排気ダクト、真空掃除機	式		1	レベル4
* * 直接工事費 * *					
技術管理費					

工事数量総括表

頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
塗膜はく離試験	3種3回程度	式		1	レベル4
安全費					
安全費		式		1	レベル2
安全費		式		1	レベル3
呼吸用保護具等費用		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * *					
* * 工事費計 * *					

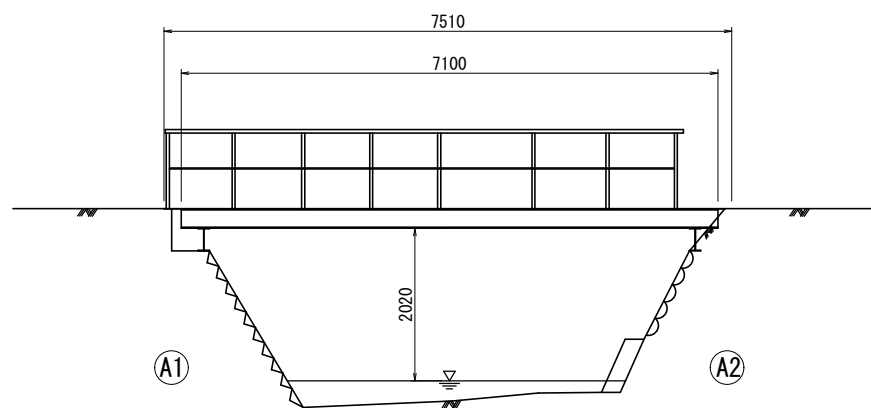
工事数量総括表

頁0 -0005

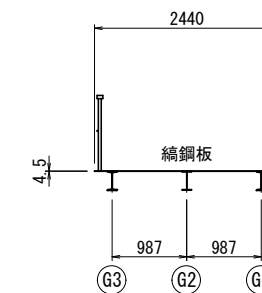
[illegible]

大田代後畑1号橋 一般図 S=1:50

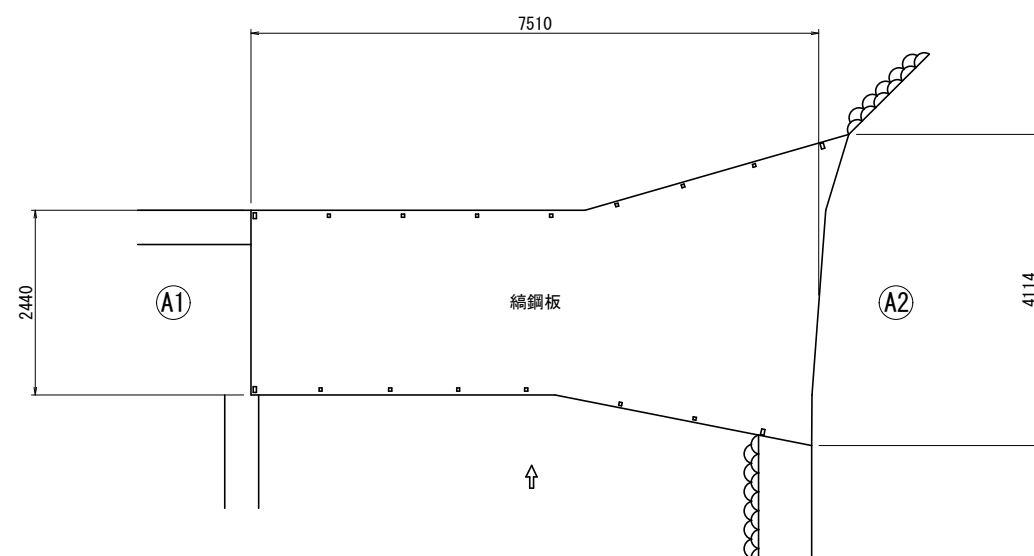
縦断面図



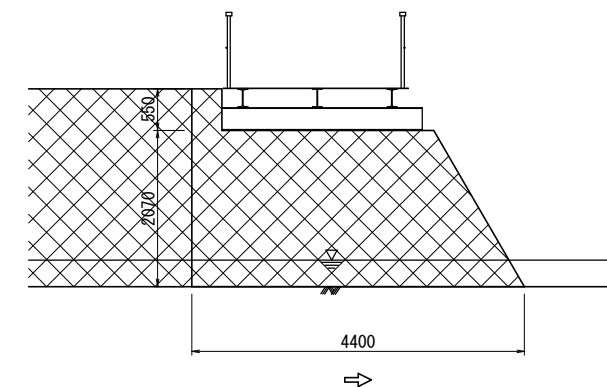
横断面図



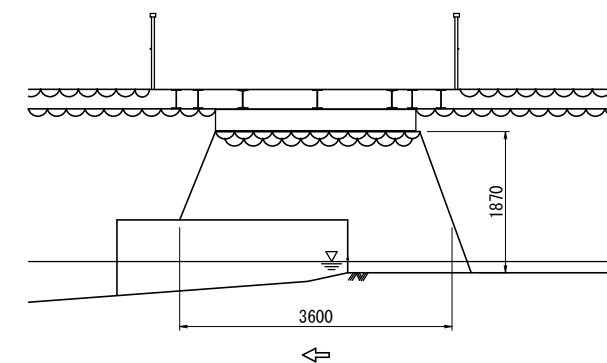
平面図（橋面）



A1橋台



A2橋台

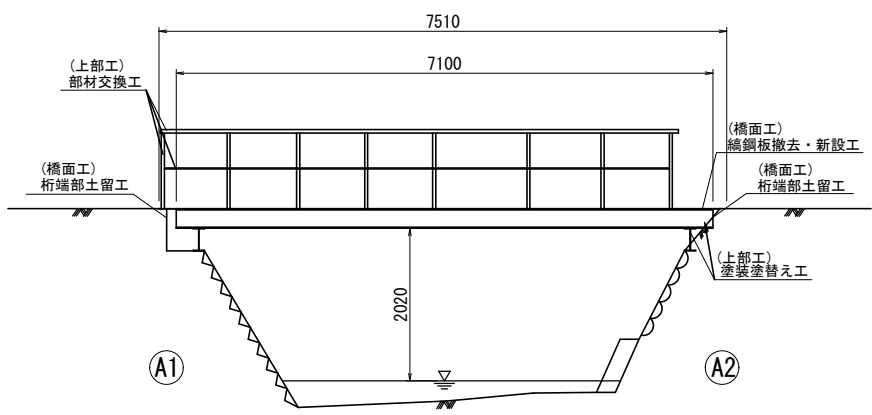


注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

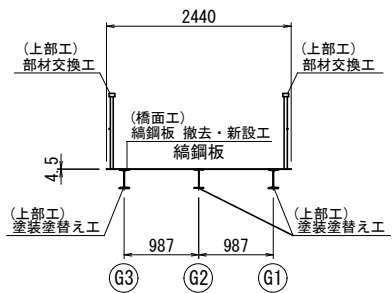
工 事 名			
図 面 名	大田代後畑1号橋 一般図		
年 月 日	令和 5年 3月		
縮 尺	1:50	図面番号	1/14
路 線 名	大田代後畑線		
事業者名	東 広 島 市		

大田代後畑1号橋 補修一般図 S=1:50

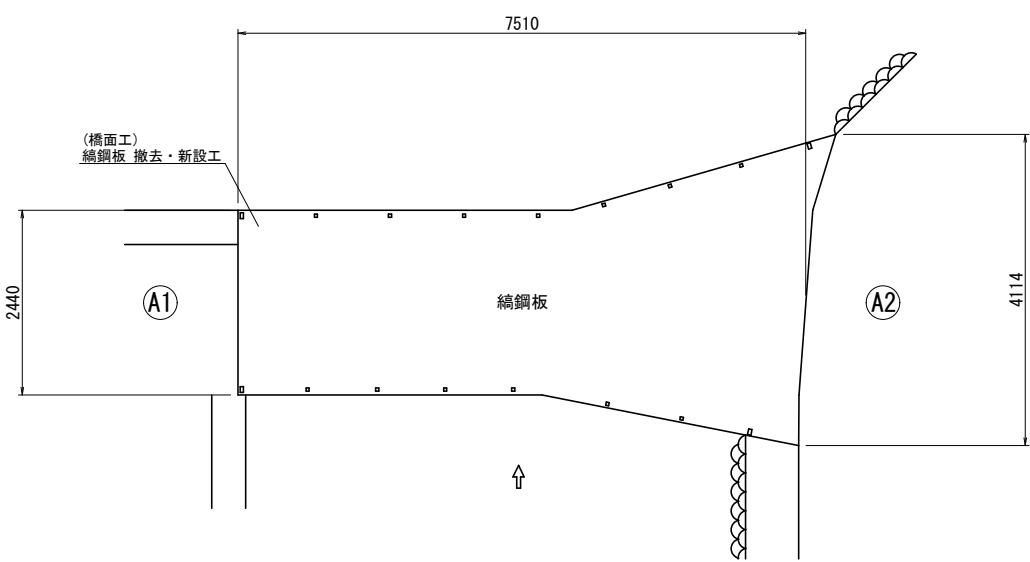
縦断面図



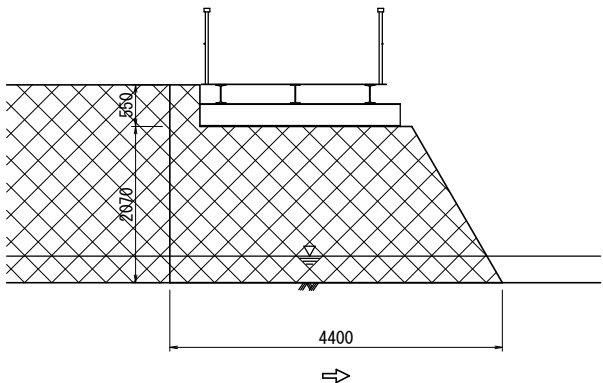
横断面図



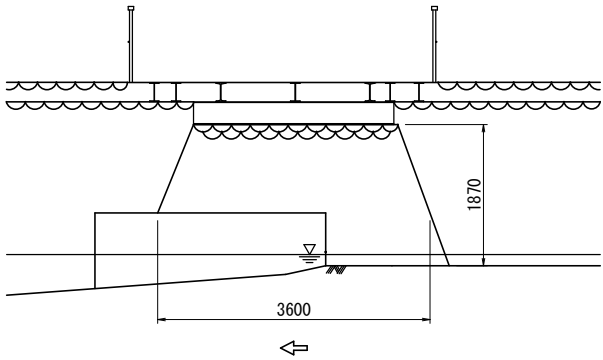
平面図（橋面）



A1橋台



A2橋台



注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

工 事 名	大田代後畑1号橋 補修一般図		
図 面 名	大田代後畑1号橋 補修一般図		
年 月 日	令和 5年 3月		
縮 尺	1:50	図面番号	2/14
路 線 名	大田代後畑線		
事業者名	東 広 島 市		

大田代後畑1号橋 下部工損傷図 S=1:50

A1橋台・A2橋台

A1橋台

A2橋台

側面図(上流側)

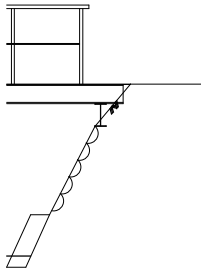
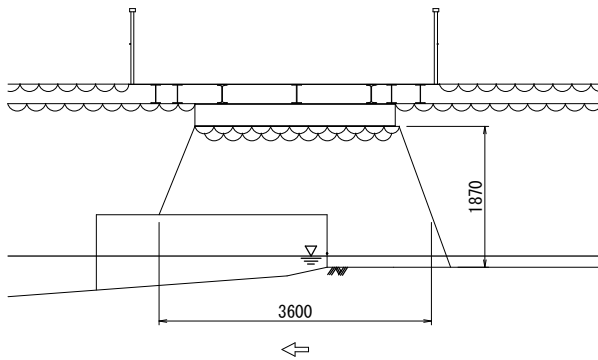
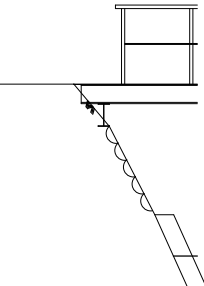
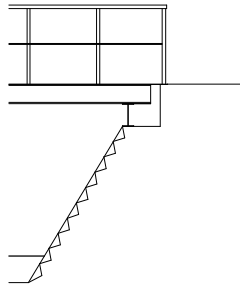
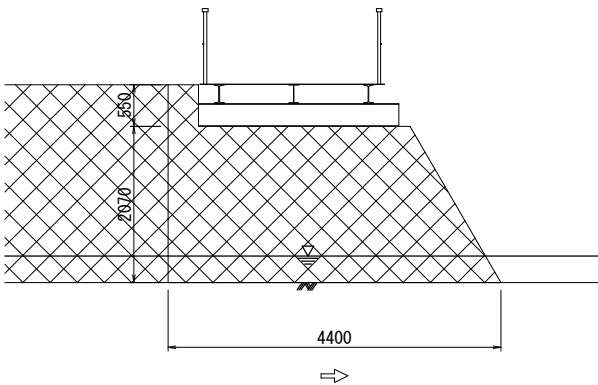
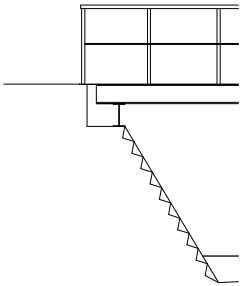
正面図

側面図(下流側)

側面図(下流側)

正面図

側面図(上流側)



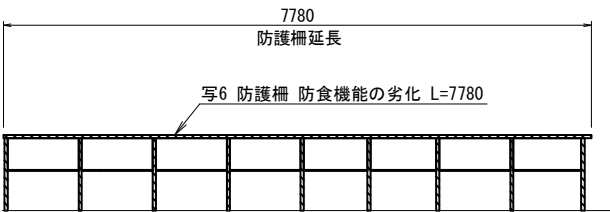
凡 例			
記 号	損 傷 種 類	記 号	損 傷 種 類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)		摩 耗・浸 食
	ひび割れ (W=0.2mm～1.0mm未満)		豆 板
	ひび割れ (W=1.0mm～5.0mm未満)		析出物
	ひび割れ (W=5.0mm以上)		漏 水・滞 水
	析出物を伴うひび割れ		腐 食
	う き		防食機能の劣化
	剥 離		その他
	鉄筋露出	写 1	写真番号
	欠 損		

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

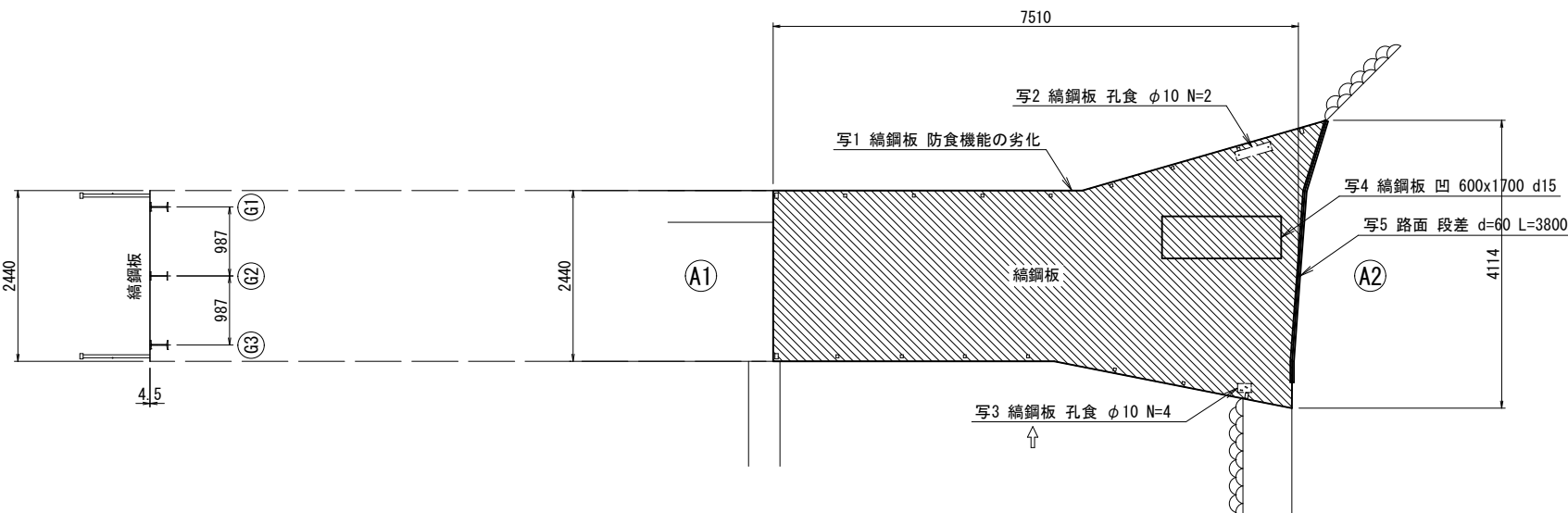
工 事 名			
図 面 名	大田代後畑1号橋 下部工損傷図		
年 月 日	令和 5年 3月		
縮 尺	1:50	図面番号	3/14
路 線 名	大田代後畑線		
事業者名	東 広 島 市		

大田代後畑1号橋 路面損傷図 S=1:50

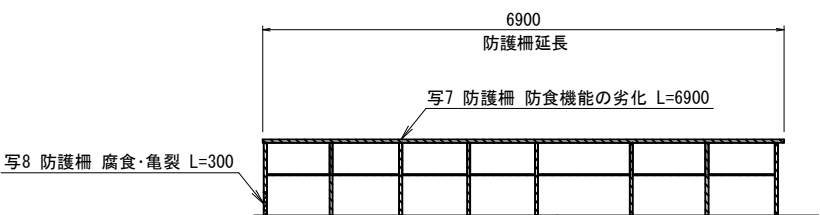
左側防護柵正面図



平面図（橋面）



右側防護柵正面図



横断面図

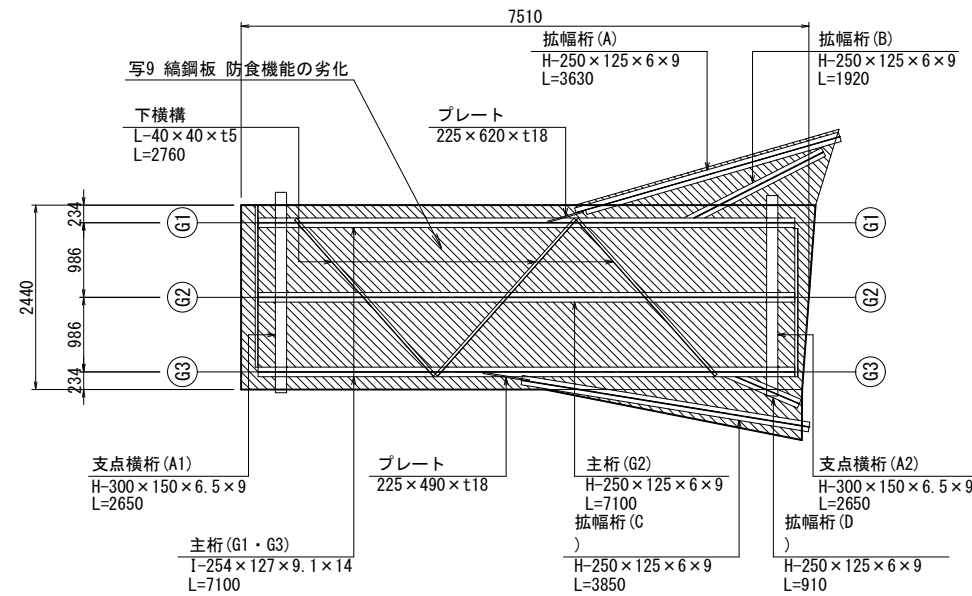
凡 例	
記 号	損 傷 種 類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)
	ひび割れ (W=0.2mm～1.0mm未満)
	ひび割れ (W=1.0mm～5.0mm未満)
	ひび割れ (W=5.0mm以上)
	析出物を伴うひび割れ
	う き
	剥 離
	鉄筋露出
	欠 損
	摩 耗・浸 食
	豆 板
	析出物
	漏 水・滞 水
	腐 食
	防食機能の劣化
	その他
写 1	写真番号

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

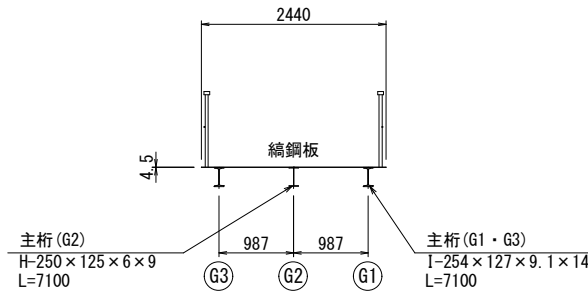
工 事 名			
図 面 名	大田代後畑1号橋 路面損傷図		
年 月 日	令和 5年 3月		
縮 尺	1:50	図面番号	4/14
路 線 名	大田代後畑線		
事業者名	東 広 島 市		

大田代後畑1号橋 鋼材損傷図

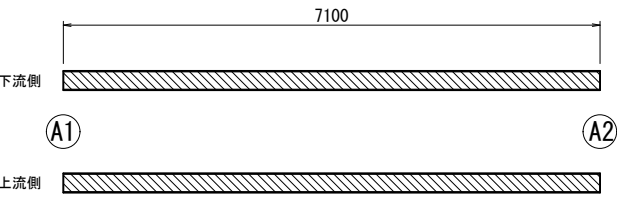
平面図 S=1:50



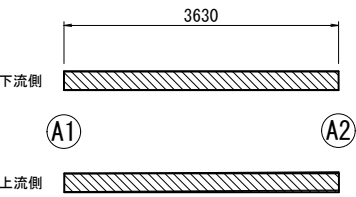
横断面図



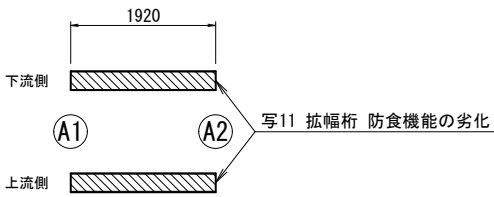
主桁 (G1) 側面図



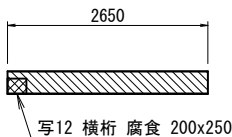
拡幅桁 (A) 側面図



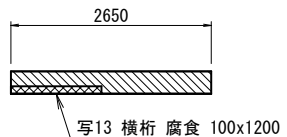
拡幅桁 (B) 側面図



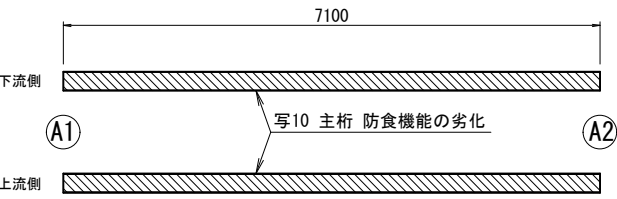
支点横桁 (A1)



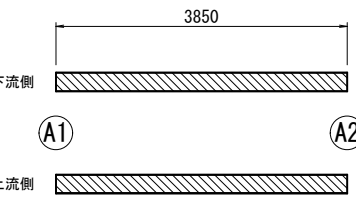
支点横桁 (A2)



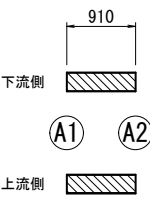
主桁 (G2) 側面図



拡幅桁 (C) 側面図



拡幅桁 (D) 側面図



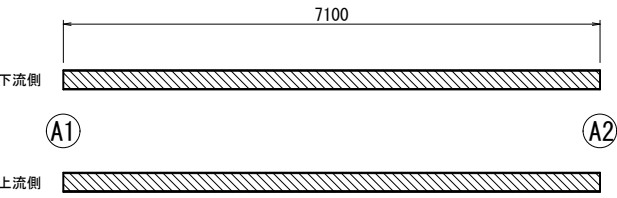
プレート (上流側)



プレート (下流側)



主桁 (G1) 側面図



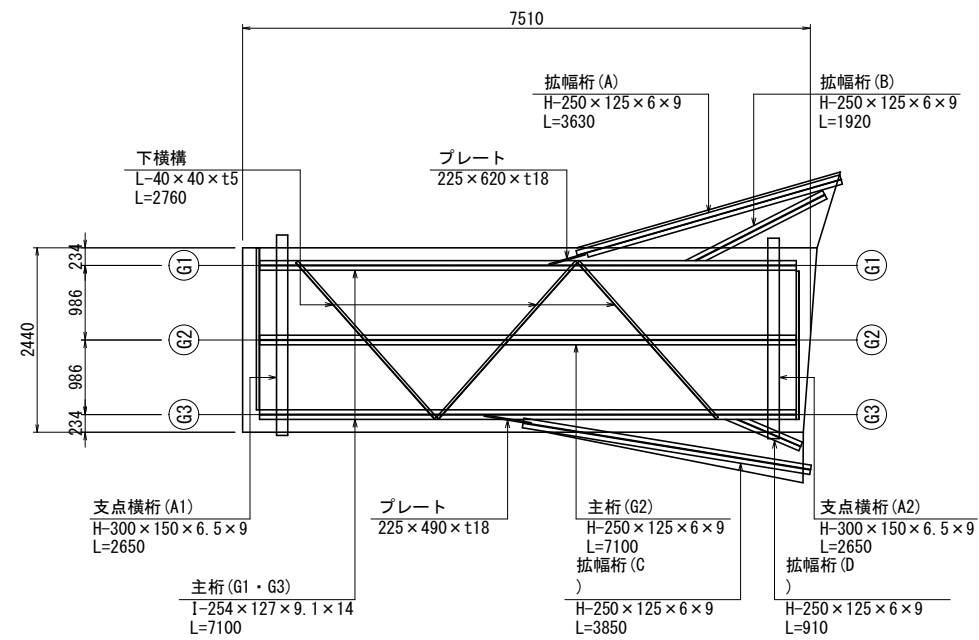
凡 例			
記 号	損 傷 種 類	記 号	損 傷 種 類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)		摩 耗・浸 食
	ひび割れ (W=0.2mm~1.0mm未満)		豆 板
	ひび割れ (W=1.0mm~5.0mm未満)		析 出 物
	ひび割れ (W=5.0mm以上)		漏 水・滞 水
	析 出 物		腐 食
	う き		防食機能の劣化
	剥 離		そ の 他
	鉄筋露出	写 1	写 真 番 号
	欠 損		

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

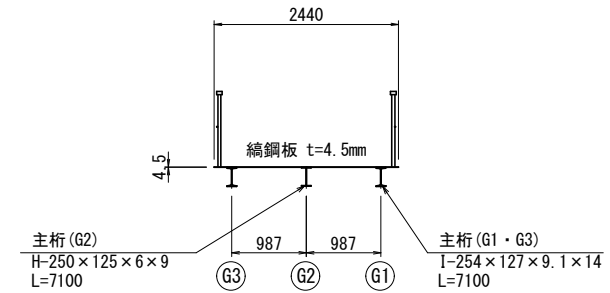
工 事 名			
図 面 名	大田代後畑1号橋 鋼材損傷図		
年 月 日	令和 5年 3月		
縮 尺	図示	図面番号	5/14
路 線 名	大田代後畑線		
事業者名	東 広 島 市		

大田代後畑1号橋 桁塗装評価図

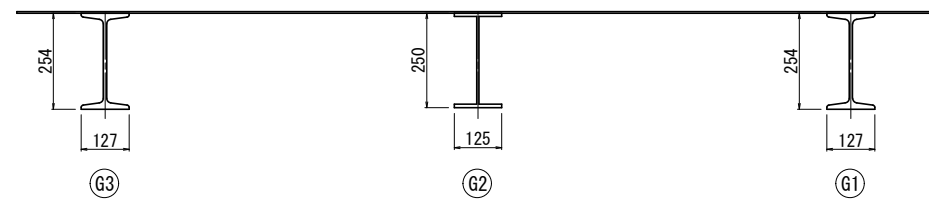
桁配置図 S=1:50



横断面図



主桁詳細図 S=1:10



鋼材塗裝評估表

項 目	LINE・分類1・損傷区分		1 径 間	
	調査区分		評価区分	さび(RN)
さび汚れ変退色等	G1	上フランジ	e	1
		ウェブ	e	1
		下フランジ	e	1
	G2	上フランジ	e	1
		ウェブ	e	1
		下フランジ	e	1
	G3	上フランジ	e	1
		ウェブ	e	1
		下フランジ	e	1
	横 桁	支点横桁	e	1
下横構		e	1	

損傷程度の評価区分

区分	一 般 的 状 況
a	損傷なし
b	—
c	最外層の防食皮膜に変色が生じたり、局所的な浮きが生じている
d	部分的に防食皮膜が剝離し、下塗りが露出する
e	防食皮膜の劣化範囲が広く、点蝕が発生する

「橋梁定期点検要領（案）」

鋼桁塗装錆評価

発 生 状 況		
評価点		
(RN)	発生面積 (%)	外 観 状 態
3	0.03以下	異常なし。誰が見ても外観的には錆が認められないか、錆らしきものがあっても無視し得る程度のもの。
2	0.03～0.3	僅かに錆が見られる。錆が観察される部分以外の塗膜の防食性能はほぼ維持されていると思われる状態。
1	0.3～0.5	明らかに錆が見られる。誰が見ても免錆部分が多く、何らかの処置をほどこさなくてはならない状態。
0	5.0以上	見かけ上ほぼ全面に渡って錆が見られる。早急に塗料を塗り直さなければいけない状態。

「鋼橋塗装マニュアル」

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

工 事 名			
図 面 名	大田代後畑1号橋 桁梁装設計画図		
年 月 日	令和 5年 3月		
縮 尺	図示	図面番号	6/14
路 線 名	大田代後畑線		
事業者名	東 広 島 市		

大田代後畑1号橋 下部工補修図 S=1:50

A1橋台・A2橋台

A1橋台

A2橋台

側面図(上流側)

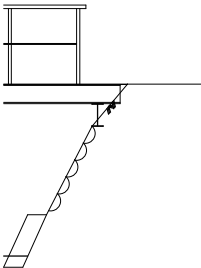
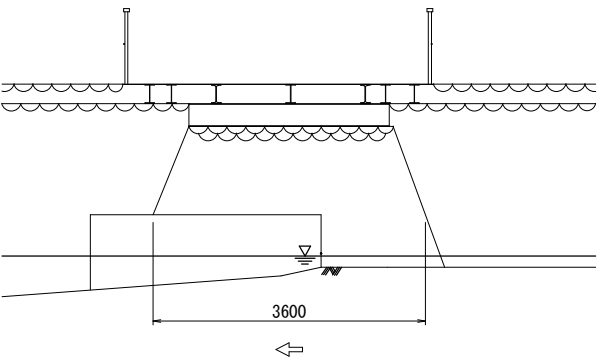
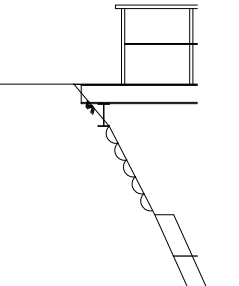
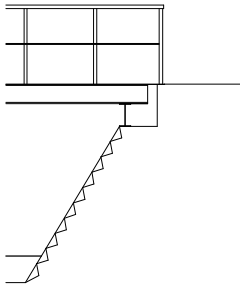
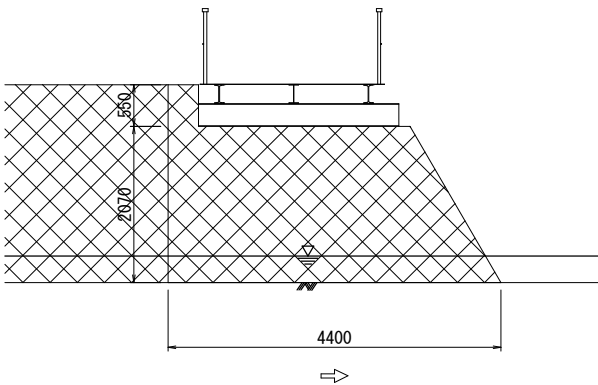
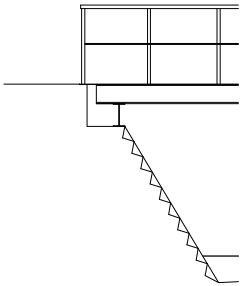
正面図

側面図(下流側)

側面図(下流側)

正面図

側面図(上流側)



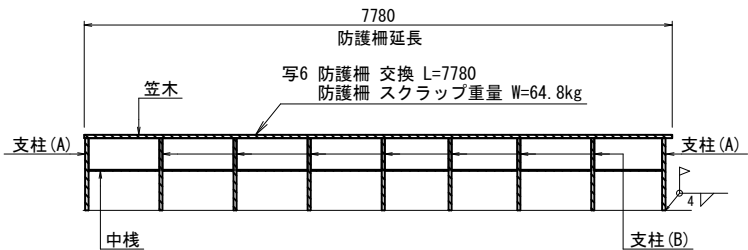
凡 例			
記 号	損 傷 種 類	記 号	損 傷 種 類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)		摩 耗・浸 食
	ひび割れ (W=0.2mm～1.0mm未満)		豆 板
	ひび割れ (W=1.0mm～5.0mm未満)		析出物
	ひび割れ (W=5.0mm以上)		漏 水・滞 水
	析出物を伴うひび割れ		腐 食
	う き		防食機能の劣化
	剥 離		その他
	鉄筋露出	写 1	写真番号
	欠 損		

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

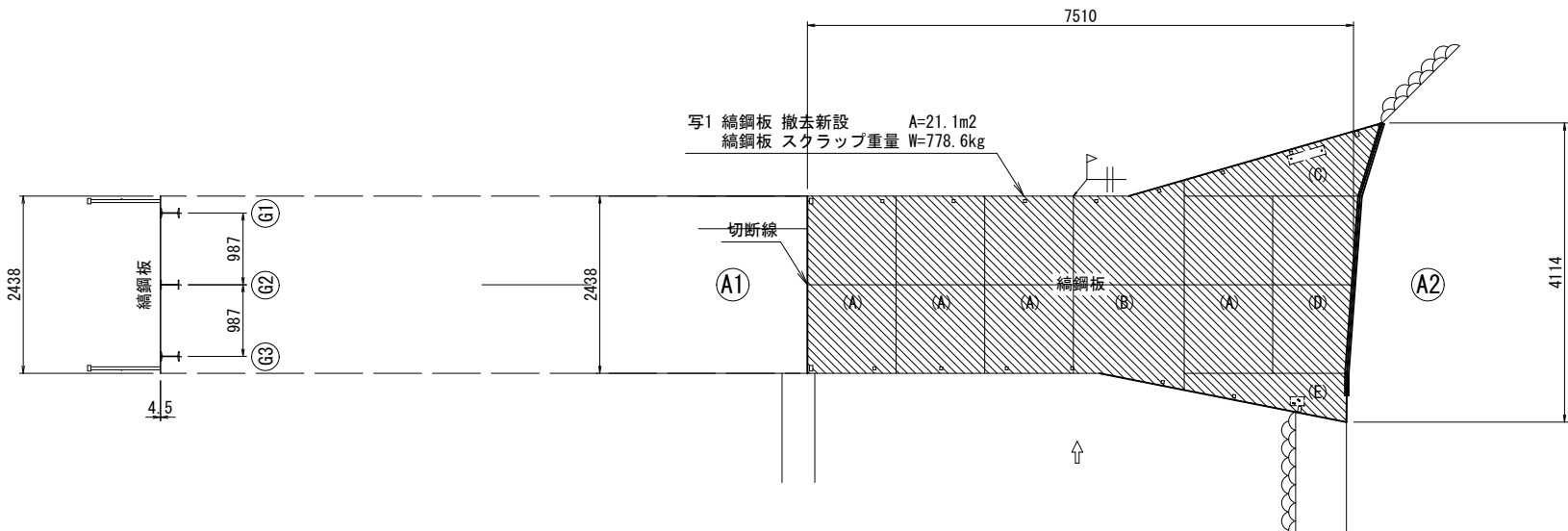
工 事 名			
図 面 名	大田代後畑1号橋 下部工補修図		
年 月 日	令和 5年 3月		
縮 尺	1:50	図面番号	7/14
路 線 名	大田代後畑線		
事業者名	東 広 島 市		

大田代後畑1号橋 路面補修図 S=1:50

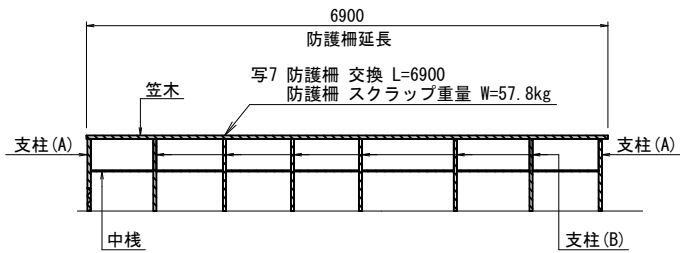
左側防護柵正面図



平面図（橋面）



右側防護柵正面図



縞鋼板・防護柵製作、既設切断撤去後、溶接取付け

縞鋼板製作数：1台 防護柵製作数：2台
材質：SS400
溶接：縞鋼板は突合せ溶接とする。
防護柵は全周をすみ肉溶接とする。
表面仕上：現場にて塗装する。

左側防護柵重量表

部材名	規格	単位重量 (kg/m)	長さ (m)	数量	重量 (kg)
支柱 (A)	STKR□75×45×t2.3	4.06	0.955	2	7.755
支柱 (B)	STKR□40×40×t2.3	2.62	0.955	7	17.515
笠木	STKR□75×45×t2.3	4.06	7.780	1	31.587
中柱	丸鋼φ13 (JIS G 3991)	1.51	7.590	1	7.894
小計					64.751

縞鋼板重量表

部材名	規格	単位重量 (kg/m2)	面積 (m2)	数量	重量 (kg)
縞鋼板 (A)	1219×2438 CHPL-4.5	36.99	2.97	4	439.4
縞鋼板 (B)	1524×2438～2888 CHPL-4.5	36.99	3.93	1	145.4
縞鋼板 (C)	220～1005×2727 CHPL-4.5	36.99	1.52	1	56.2
縞鋼板 (D)	1020～1200×2438 CHPL-4.5	36.99	2.71	1	100.2
縞鋼板 (E)	230～671×2239 CHPL-4.5	36.99	1.01	1	37.4
小計					778.6

右側防護柵重量表

部材名	規格	単位重量 (kg/m)	長さ (m)	数量	重量 (kg)
支柱 (A)	STKR□75×45×t2.3	4.06	0.955	2	7.755
支柱 (B)	STKR□40×40×t2.3	2.62	0.955	6	15.013
笠木	STKR□75×45×t2.3	4.06	6.900	1	28.014
中柱	丸鋼φ13 (JIS G 3991)	1.04	6.720	1	6.999
小計					57.781

合計 903.032 kg

凡 例

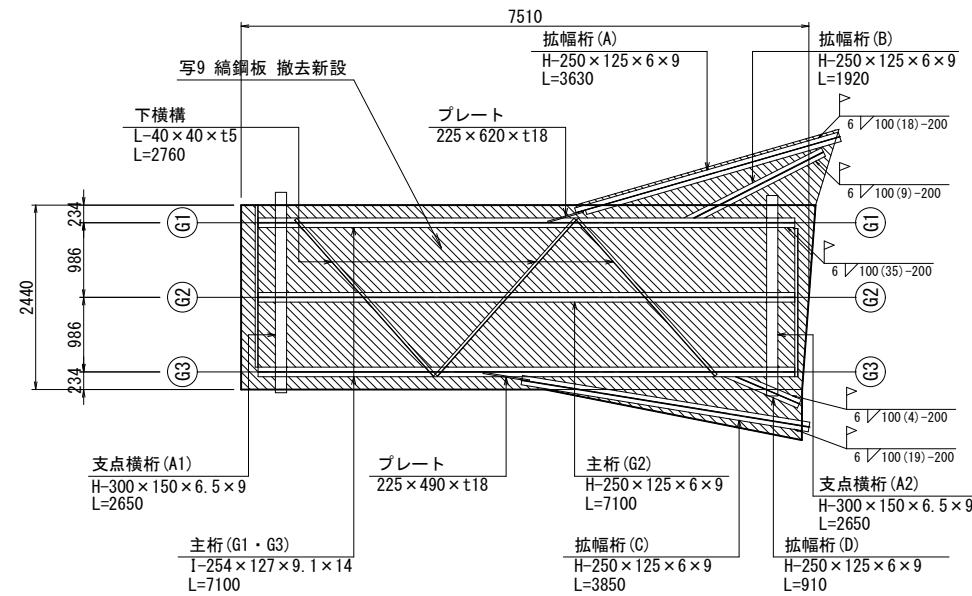
記 号	損 傷 種 類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)
	ひび割れ (W=0.2mm～1.0mm未満)
	ひび割れ (W=1.0mm～5.0mm未満)
	ひび割れ (W=5.0mm以上)
	析出物を伴うひび割れ
	う き
	剥 離
	鉄筋露出
	欠 損
	摩 耗・浸 食
	豆 板
	析出物
	漏 水・滞 水
	腐 食
	防食機能の劣化
	その他
写 1	写真番号

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

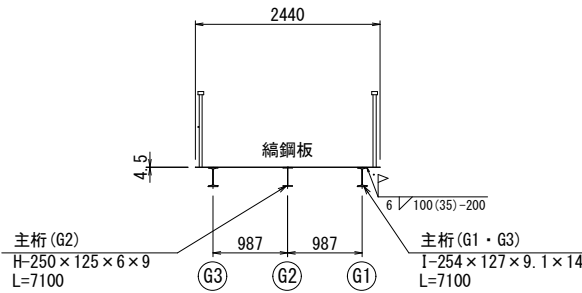
工 事 名			
図 面 名	大田代後畑1号橋 路面補修図		
年 月 日	令和 5年 3月		
縮 尺	1:50	図面番号	8/14
路 線 名	大田代後畑線		
事業者名	東 広 島 市		

大田代後畑1号橋 鋼材補修図

平面図 S=1:50

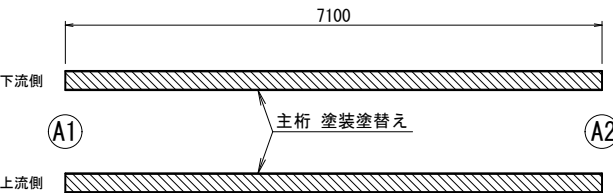


横断面図

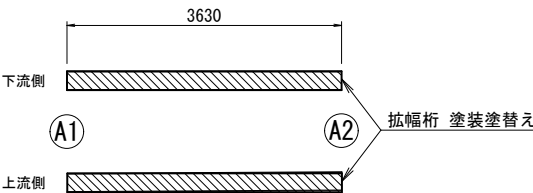


溶接：主桁及び拡幅桁と縦鋼板の接合部は全周をすみ肉溶接とする。

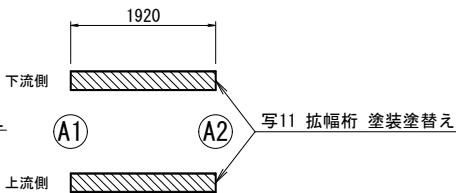
主桁 (G1) 側面図



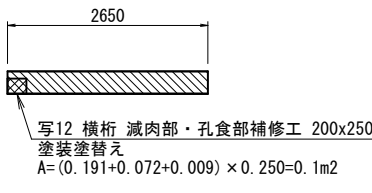
拡幅桁 (A) 側面図



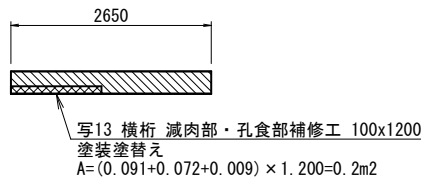
拡幅桁 (B) 側面図



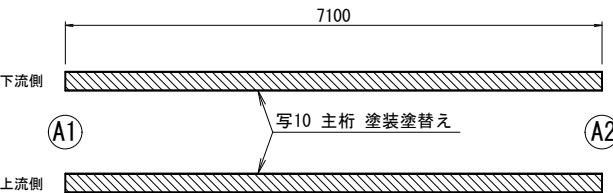
支点横桁 (A1)



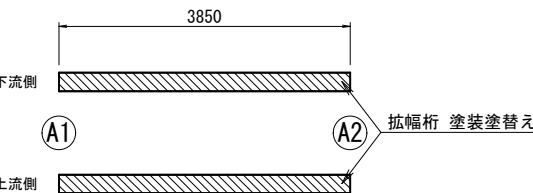
支点横桁 (A2)



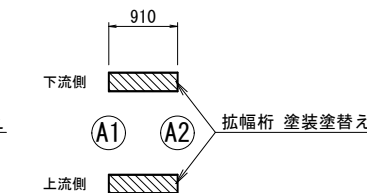
主桁 (G2) 側面図



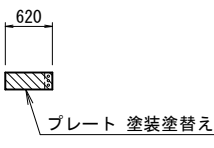
拡幅桁 (C) 側面図



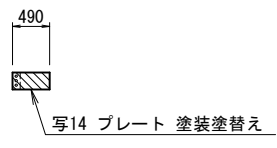
拡幅桁 (D) 側面図



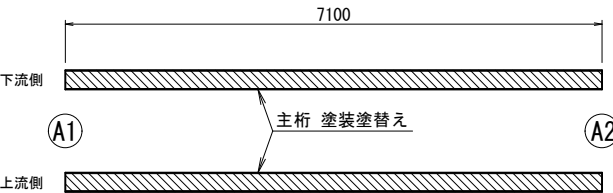
プレート (上流側)



プレート (下流側)



主桁 (G1) 側面図



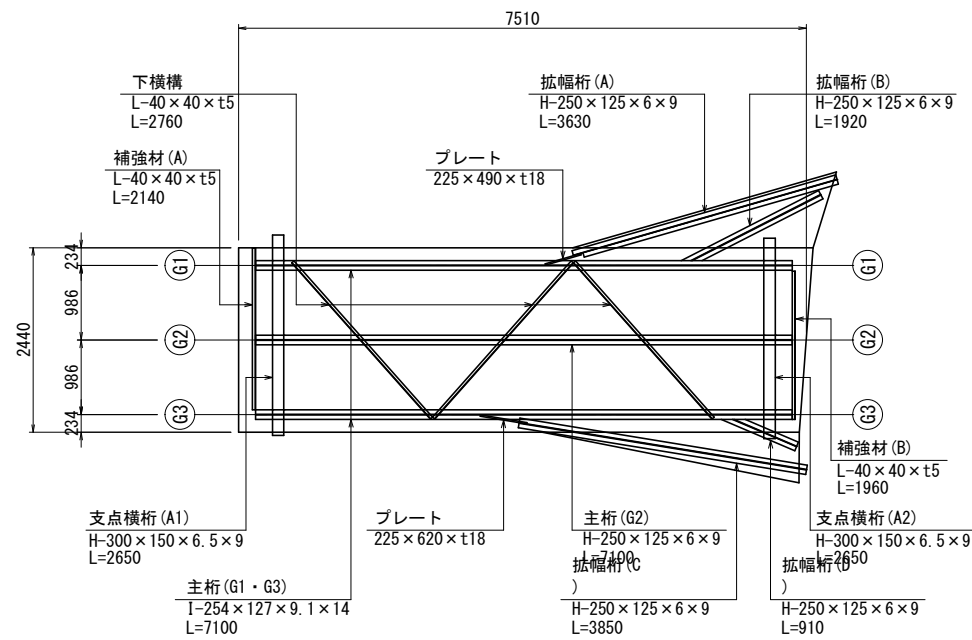
凡 例			
記 号	損 傷 種 類	記 号	損 傷 種 類
	ひび割れ (W=0.2mm未満)		摩 耗・浸 食
	ひび割れ (W=0.2mm～1.0mm未満)		豆 板
	ひび割れ (W=1.0mm～5.0mm未満)		析 出 物
	ひび割れ (W=5.0mm以上)		漏 水・滞 水
	析 出 物 を 伴 う ひび 割 れ		腐 食
	う き		防 食 機 能 の 劣 化
	剥 離		そ の 他
	鉄 筋 露 出	写 1	写 真 番 号
	欠 損		

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

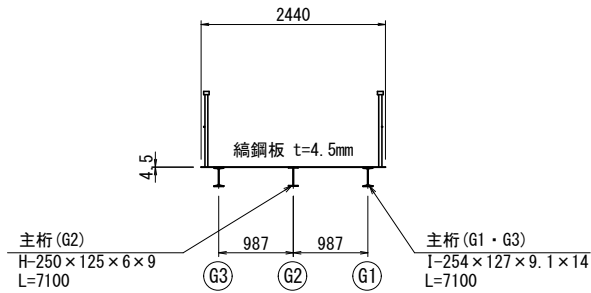
工 事 名			
図 面 名	大田代後畑1号橋 鋼材補修図		
年 月 日	令和 5年 3月		
縮 尺	図 示	図面番号	9/14
路 線 名	大田代後畑線		
事業者名	東 広 島 市		

大田代後畑1号橋 塗装塗替え算出図(1)

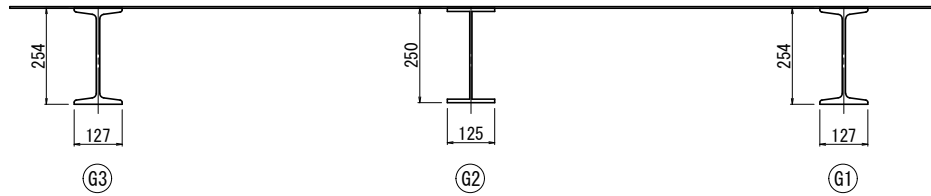
桁配置図 S=1:50



横断面図



主桁詳細図 S=1:10



注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

工 事 名			
図 面 名	大田代後畑1号橋 塗装塗替え算出図(1)		
年 月 日	令和 5年 3月		
縮 尺	図示	図面番号	10/14
路 線 名	大田代後畑線		
事業者名	東 広 島 市		

大田代後畑1号橋 塗装塗替え算出図(2)

縞鋼板(CAD計測) A=22.0+17.9+1.0=40.9m2

主桁 G1
$$\{ (0.005 + 0.009 + 0.044 + 0.017) \times 2 + 0.197 + 0.064 \} \times 2 \times 7.100 + 0.127 \times 0.014 \times 3 + 0.226 \times 0.009 \times 2$$
$$- [0.127 \times 0.150 \times 2 + (0.128 + 0.163) \times 1/2 \times 0.040 \times 3 + 0.275 \times 0.009 \times 2 + (0.151 + 0.213) \times 1/2 \times 0.018 \times 2] = 5.8 \text{ m2}$$

主桁 G2
$$\{ (0.009 + 0.060) \times 2 + 0.232 + 0.063 \} \times 2 \times 7.100 + (0.232 \times 0.006 + 0.125 \times 0.009) \times 2 - (0.125 \times 0.150 \times 2 + 0.054 \times 0.167 \times 3) = 6.1 \text{ m2}$$

主桁 G3
$$\{ (0.005 + 0.009 + 0.044 + 0.017) \times 2 + 0.197 + 0.064 \} \times 2 \times 7.100 + 0.127 \times 0.014 \times 3 + 0.226 \times 0.009 \times 2$$
$$- [0.127 \times 0.150 \times 2 + (0.128 + 0.163) \times 1/2 \times 0.040 \times 3 + 0.318 \times 0.009 \times 2 + (0.367 + 0.256) \times 1/2 \times 0.018 \times 2] = 5.8 \text{ m2}$$

支点横桁 (A1)
$$\{ (0.009 + 0.072) \times 2 + 0.075 + 0.282 \} \times 2 \times 2.650 + (0.150 \times 0.009 \times 2 + 0.282 \times 0.007) \times 2 - 0.127 \times 0.150 \times 3 = 2.7 \text{ m2}$$

支点横桁 (A2)
$$\{ (0.009 + 0.072) \times 2 + 0.075 + 0.282 \} \times 2 \times 2.650 + (0.150 \times 0.009 \times 2 + 0.282 \times 0.007) \times 2 - (0.127 \times 0.150 \times 3 + 0.017) = 2.7 \text{ m2}$$

拡幅桁 (A)
$$\{ (0.009 + 0.060) \times 2 + 0.232 + 0.063 \} \times 2 \times 3.500 + [(0.009 + 0.060) \times 3 + 0.241 + 0.232 + 0.065] \times 0.130 + (0.125 + 0.065) \times 0.009 + 0.232 \times 0.006$$
$$- (0.100 \times 0.225 + 0.01) = 3.1 \text{ m2}$$

拡幅桁 (B)
$$\{ (0.009 + 0.060) \times 2 + 0.232 + 0.063 \} \times 2 \times 1.920 + (0.125 + 0.275) \times 0.009 \times 2 + 0.232 \times 0.006 \times 2 - 0.275 \times 0.009 \times 2 = 1.7 \text{ m2}$$

拡幅桁 (C)
$$\{ (0.009 + 0.060) \times 2 + 0.232 + 0.063 \} \times 2 \times 3.850 + (0.125 \times 0.009 \times 2 + 0.232 \times 0.006) \times 2 - 0.100 \times 0.225 = 3.3 \text{ m2}$$

拡幅桁 (D)
$$\{ (0.009 + 0.060) \times 2 + 0.232 + 0.063 \} \times 2 \times 0.910 + (0.125 + 0.318) \times 0.009 \times 2 + 0.232 \times 0.006 \times 2 - (0.318 \times 0.009 \times 2 + 0.02) = 0.8 \text{ m2}$$

下横構
$$\{ (0.005 + 0.035 + 0.040) \times 2 \} \times 2.760 \times 3 + [(0.040 + 0.035) \times 0.005 \times 2] \times 3 - \{ (0.163 + 0.128) \times 1/2 \times 0.040 \} \times 6 = 1.3 \text{ m2}$$

プレート
$$0.225 \times 0.490 \times 2 + (0.225 \times 2 + 0.490) \times 0.018 + 0.225 \times 0.620 \times 2 + (0.225 \times 2 + 0.620) \times 0.018 - [(0.151 + 0.213) \times 0.5 + (0.367 + 0.256) \times 0.5] \times 0.018$$
$$+ 0.100 \times 0.225 \times 2 = 0.6 \text{ m2}$$

補強材 (A)
$$\{ (0.005 + 0.035) \times 2 + 0.040 \} \times 2.140 + [(0.040 + 0.035) \times 0.005] \times 2 - 0.127 \times 0.014 + 0.125 \times 0.009 = 0.3 \text{ m2}$$

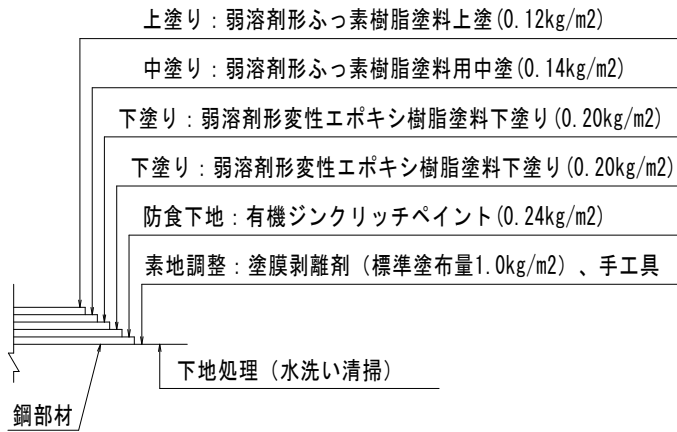
補強材 (B)
$$\{ (0.005 + 0.035) \times 2 + 0.040 \} \times 1.960 + [(0.040 + 0.035) \times 0.005] \times 2 - 0.127 \times 0.014 + 0.125 \times 0.009 = 0.2 \text{ m2}$$

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

工 事 名			
図 面 名	大田代後畑1号橋 塗装塗替え算出図(2)		
年 月 日	令和 5年 3月		
縮 尺	図示	図面番号	11/14
路 線 名	大田代後畑線		
事業者名	東 広 島 市		

塗装塗替え工

(Rc-Ⅱ)



※ 施工手順

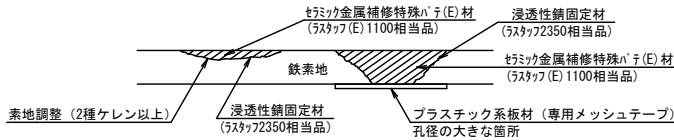
- 1 下地処理（水洗い清掃）
- 2 素地調整（塗膜剥離剤、手工具による仕上げ）
- 3 防食下地
- 4 下塗り工
- 5 中塗り工
- 6 上塗り工

※ 注

1. 施工の適正気温及び養生方法を確認し、施工を行うこと。
2. 下地処理は泥やコケなど、素地調整に支障となる付着物を除去する。
処理方法は水洗いを想定しているが、現地条件等を考慮し協議決定する。
3. 素地調整は2種ケレン以上とする。
塗膜剥離剤による剥離後、手工具により仕上げ素地調整を行う。
その際、健全な防食下地（ジンクリッチプライマー等）は残すものとする。
4. 塗膜剥離剤の使用量、使用回数は現地試験施工等により協議決定する。
5. 塗装仕様はRc-Ⅱ（鋼道路橋防食便覧 平成26年3月／日本道路協会）に準ずる。
なお防食下地の使用量は、上記3. の方針により0.24kg/m2を目安とする。
ただし、現地状況より既存の防食下地が健全でない場合にはこれを全面除去し、
使用量は0.60kg/m2とする（協議決定する）。
6. ハケ、おびローラーによる施工である。

減肉部・孔食部補修工

セラミック金属補修特殊パテ(E)材



注)

1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、金属補修及び塗装範囲、数量調査を協議のうえ施工すること。
2. 図中詳細寸法は現地計測のうえ決定すること。
3. 素地調整については2種ケレン以上とし、鋼腐食部、錆を除去し鋼材面を露出させること。
4. 下地処理面は凹部・亀裂部がなく塗布面平滑となるよう努めること。
5. 下地処理面にはホコリ不純物を完全に除去し、乾燥状態を保つこと。
6. 素地調整後から金属補修工までは速やかに行うこと。
7. 使用する金属補修材は、下記基本物性の補修材を使用し、材料の取扱い注意事項に留意すること。

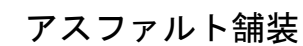
セラミック金属補修パテ(E)材 基本物性	
項 目	試験結果
引張接着強さ	23.6N/mm2
耐磨耗性(磨耗輪法)	52.0mg
ロッキング硬度Rスケール	115
耐塩水噴霧試験	24,000時間変化なし

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

工 事 名			
図 面 名	大田代後畑1号橋 補修要領図		
年 月 日	令和 5年 3月		
縮 尺	1:50	図面番号	12/14
路 線 名	大田代後畑線		
事業者名	東 広 島 市		

S=1 : 50

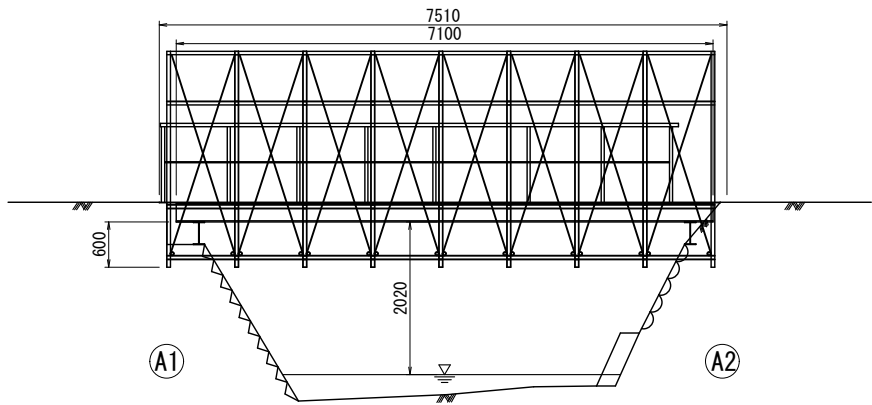
平面図 (橋面)



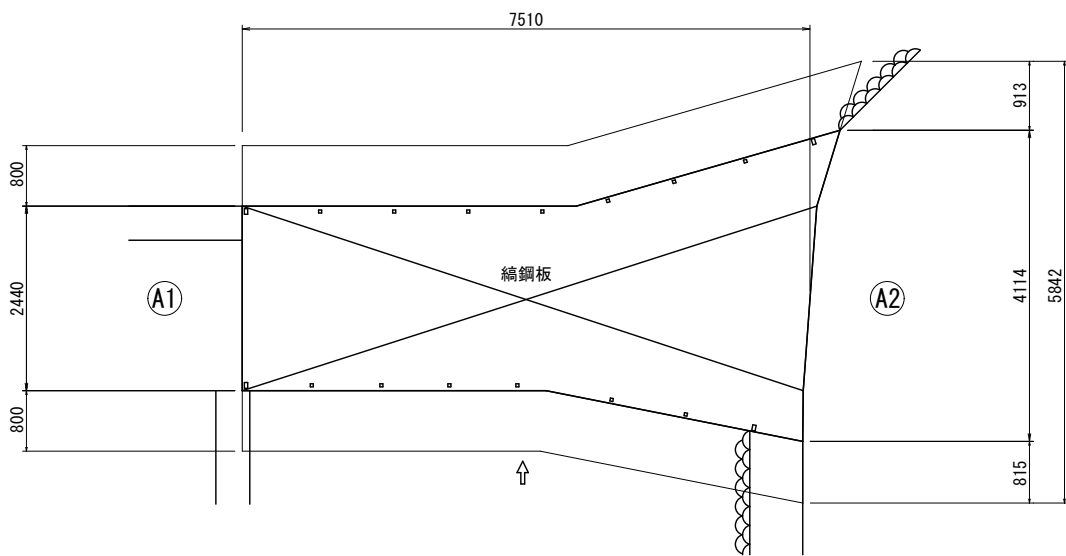
工 事 名			
図 面 名	大田代後畑1号橋 橋面補修図		
年 月 日	令和 5年 3月		
縮 尺	1:50	図面番号	13/14
路 線 名	大田代後畑線		
事業者名	東 広 島 市		

大田代後畑1号橋 仮設図(参考図) S=1:50

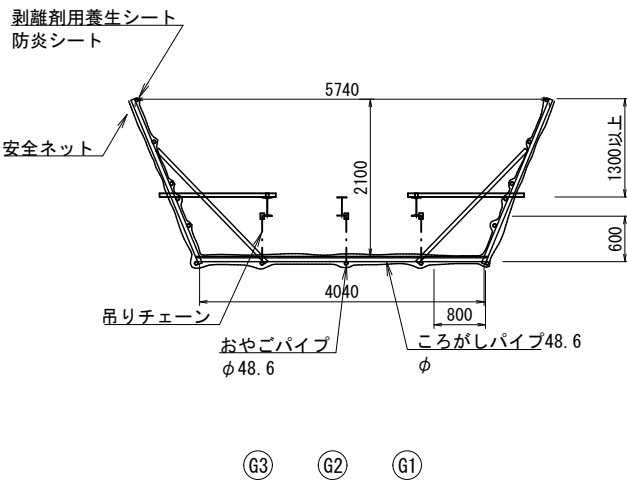
縦断面図



平面図(橋面)



横断面図



- 注記)
1. 足場架設の際は、積載荷重を検討し、安全であることを確認の上、施工にあたること。
 2. 足場架設の際は、現地状況及び寸法を確認の上行うこと。
 3. 足場には安全ネット、防災シート、養生シート等の措置を行うこと。
 4. 既設塗膜には、「PCB、鉛、クロム」が含まれているため、安全環境対策工(足場囲い、防護マスク、防護衣、シャワールーム、負圧集塵機、真空掃除機)等の対策を実施すること。

吊足場 数量表

名 称	計 算 式	面 積
吊足場	CAD計測	33.6 m2
吊足場作業空間体積	$(4.04+5.74) \times 1/2 \times 2.10 \times 7.51$	77.1 m3

注) A3印刷の場合、縮尺は図示の1/2とする。

工 事 名			
図 面 名	大田代後畑1号橋 仮設図(参考図)		
年 月 日	令和 5年 3月		
縮 尺	1:50	図面番号	14/14
路 線 名	大田代後畑線		
事業者名	東 広 島 市		

参 考 図 書

工事名称 ： 令和 8 年度 橋梁長期保全事業
大田代後畑 1 号橋橋梁補修工事

＜注意事項＞

1 本工事は、数量公開の対象工事です。

2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束を
するものではありません。

3 その他

- ・当該工事により発生する As 殻、Co 殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施
設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
As 殻	鹿島道路(株)広島東合 材製造所	安芸郡熊野町字深原平 2668-32	7.8km
建設発生土 (土砂)	光陽建設(株)建設発生 土リサイクルプラント	東広島市黒瀬町津江字イラスケ 21852-5	3.4km

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 45 東広島市(黒瀬) 00-08.06.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代	前世代
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	08 鋼橋架設工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
現場塗装工	1	式			Y1G0325 レベル2
塗膜除去工	1	式			Y3999 レベル3
塗膜除去工 塗布回数2回	1	式			Y4999 レベル4
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	151	m2			V0000000040 00
廃材回収・積込 塗膜くず	151	m2			単第0 -0001 表 Y4999 レベル4
廃材回収・積込 塗膜くず 時間的制約なし	75	m2			F0000000042 00
ペール缶 UN-20L	75	m2			F0000000043 00
	27	缶			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜除去養生設備・シート設置撤去 シート設置撤去回数2回	67	m2			Y4999 レベル4
塗膜除去養生設備・シート設置撤去	67	m2			V0000000041 00
橋梁塗装工	1	式			単第0 -0002 表 Y1G032501 レベル3
塗替塗装 清掃・水洗い	75	m2			Y4999 レベル4
塗替塗装 清掃・水洗い	75	m2			SDT00029 00
素地調整 素地調整2種	75	m2			単第0 -0003 表 Y1G03250101 レベル4
塗替塗装 素地調整	75	m2			SDT00029 00
塗替塗装 研削材及びケレンかす回収・積込工	75	m2			単第0 -0004 表 SDT00029 00
金属パテ ラスタップ1100相当 1kg/セット	1	セット			単第0 -0005 表 F0000000270 00

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下塗り塗装 防食下地 有機ジンクリッチペイント（2回塗り/層）	75	m2			Y1G03250102レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	75	m2			SDT00029 00 単第0 -0006 表
下塗り塗装 下塗り塗装 変性エポキシ樹脂塗料（2層）	75	m2			Y1G03250102レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	75	m2			SDT00029 00 単第0 -0007 表
中塗り塗装 中塗り塗装 淡彩 ふっ素樹脂塗料	75	m2			Y1G03250103レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	75	m2			SDT00029 00 単第0 -0008 表
上塗 上塗り塗装 淡彩 ふっ素樹脂塗料	75	m2			Y1G03250104レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	75	m2			SDT00029 00 単第0 -0009 表
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床版設置工	1	式			Y3999 レベル3
縞鋼板運搬	0.9	t			Y4999 レベル4
現場内小運搬 特殊車運搬(クローラ) (総運搬距離)100m超300m以下	0.9	t			TSE00016 00
床版設置工	1	式			Y4999 レベル4
現場溶接鋼桁補強	45	m			SPK25040346 00 単第0 -0010 表
【鋼橋門扉等工事原価】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象]					#0044
縞鋼板 (A) 1219 × 2438 CHPL-4.5	4	枚			F0000000199 00
縞鋼板 (B) 1524 × 2438 ~ 2888 CHPL-4.5	1	枚			F0000000200 00
縞鋼板 (C) 220 ~ 1005 × 2727 CHPL-4.5	1	枚			F0000000201 00

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
縞鋼板 (D) 1020 ~ 1200 × 2438 CHPL-4.5	1	枚			F0000000202 00
縞鋼板 (E) 230 ~ 671 × 2239 CHPL-4.5	1	枚			F0000000203 00
高欄設置工	1	式			Y3999 レベル3
高欄設置工	1	式			Y4999 レベル4
現場溶接鋼桁補強	3	m			SPK25040346 00 単第0 -0010 表
【鋼橋門扉等工事原価】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象]					#0044
防護柵 工場加工	1	式			F0000000250 00
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G030402 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤 RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	2	m2			Y1G03040208 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	2	m2			SPK25040237 00 単第0 -0011 表
表層 1層当り平均仕上厚50mm	2	m2			Y1G03040211 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	2	m2			SPK25040244 00 単第0 -0012 表
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
水切り工	1	式			Y3999 レベル3
水切り工 EPDM系ゴム	14	m			Y4999 レベル4
水切り工 床版下面 接着剤固定	14	m			V0000000070 00 単第0 -0013 表
桁端部土留工	1	式			Y3999 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基礎材 RC-40	3	m2			Y1G03130401レベル4
基礎碎石 碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40	3	m2			SPK25040034 00 単第0 -0014 表
コンクリート 小型構造物 18N	0.7	m3			Y1G03130403レベル4
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.7	m3			SPK25040157 00 単第0 -0015 表
型枠 一般型枠 小型構造物	7	m2			Y1G03130405レベル4
型枠 一般型枠 小型構造物	7	m2			SPK25040159 00 単第0 -0016 表
床掘り 土砂	2	m3			Y1G03130102レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	2	m3			SPK25040015 00 単第0 -0017 表
埋戻し 土砂	0.6	m3			Y1G03130103レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	0.6	m3			SPK25040020 00 単第0 -0018 表
残土処理工	1	式			Y1G030310 レベル3
土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	1	m3			Y1G03031002 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離5.0km以下(4.0km超)	1	m3			SPK25040002 00 単第0 -0019 表
残土等処分 [建設発生土] 砂・砂質土・礫質土	1	m3			Y1G03031003 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 [建設発生土] 砂・砂質土・礫質土 光陽建設(株)建設発生土リサイクルプラント	1	m3			F0000000102 00
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G032706 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 厚15cm以下	6	m			Y1G03270602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	6	m			SPK25040307 00 単第0 -0020 表
舗装版破碎 舗装厚15cm以下	3	m2			Y1G03270603レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	3	m2			SPK25040018 00 単第0 -0021 表
既設床版・高欄切断工	29	m			Y4999 レベル4
ガス切断表面仕上工	29	m			V0000000060 00 単第0 -0022 表
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 As殻	0.1	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離9.0km以下(7.0km超)	0.1	m3			SPK25040155 00 単第0 -0023 表

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場発生品運搬 縞鋼板、高欄	1	回			Y1G03271603レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離6.0km以下(4.0km超)	0.9	t			SPK25040411 00 単第0 -0024 表
現場内小運搬 特殊車運搬(クローラ) (総運搬距離)100m超300m以下	0.9	t			TSE00016 00
殻処分 アスファルト殻	0.3	t			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
殻処分費 アスファルト殻 鹿島道路(株) 広島合材製造所	0.3	t			F0000000100 00
殻処分 スクラップ	0.9	t			Y1G03271602レベル4
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ処分費	0.9	t			F0000000103 00

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			
視線誘導標撤去再設置					Y3999 レベル3
	1	式			
視線誘導標撤去再設置					Y4999 レベル4
	2	本			
視線誘導標(土中建込用) 撤去 [規]10本未満					SS000077 00
	2	本			単第0 -0025 表
視線誘導標(土中建込用) 設置 - 片面反射 反射体_径φ300 [規]10本未満					SS000077 00
	2	本			単第0 -0026 表
仮設足場工					Y3999 レベル3
	1	式			
吊り足場 朝顔両側設置					Y4999 レベル4
	1	式			
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満					S3030011 00
	30	m2			単第0 -0027 表
足場工(朝顔)(床版補強工) 両側朝顔					S3030013 00
	30	m2			単第0 -0028 表

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護工（床版補強工） シート張防護工 両側朝顔	30	m2			S3030015 00 単第0 -0029 表
環境対策資機材 負圧集塵装置、吸気・排気ダクト、真空掃除機	1	式			Y4999 レベル4
環境対策資機材	1	式			V0000000100 00 単第0 -0030 表
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
塗膜はく離試験 3種3回程度	1	式			Y4999 レベル4
塗膜はく離試験	9	回			F0000000150 00

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
安全費					Z0009
安全費					YZZ09 レベル2
安全費	1	式			YZZ09001 レベル3
呼吸用保護具等費用	1	式			YZZ09001002 レベル4
安全衛生保護具	1	式			V0000000110 00
	1	式			単第0 -0031 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

施工単価表

頁0 -0016

塗膜剝離剤塗布・塗膜除去

V0000000040

單第0 -0001 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

塗膜除去養生設備・シート設置撤去

V0000000041

單第0 -0002 表

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

塗替塗装
清掃・水洗い

SDT00029

單第0 -0003 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

塗替塗装
素地調整

SDT00029

單第0 -0004 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

塗替塗装

SDT00029

單第0 -0005 表

研削材及びケレンかす回収・積込工

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

單第0 -0006 表

1 m2 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

單第0 -0007 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

塗替塗装
中塗り塗装

SDT00029

單第0 -0008 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

塗替塗装
上塗り塗装

SDT00029

單第0 -0009 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

現場溶接鋼桁補強

SPK25040346

単第0 -0010 表

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 13,704.00000 1 m 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
橋りょう特殊工	69.63%		橋りょう特殊工		RTPC00020 RTPT00020
橋りょう世話役	19.66%		橋りょう世話役		RTPC00021 RTPT00021
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0026

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0011 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57% 労務構成比: 37.08% 材料構成比: 51.35% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<賃>タイヤローラ 質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0027

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0011 表

RM-30

機械構成比: 11.57%

労務構成比: 37.08%

材料構成比: 51.35%

市場単価構成比: 0.00%

全仕上り厚100mm 1層施工

標準単価: 1 m2 当り 637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30～0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0028

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0012 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43%

労務構成比: 44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,891.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg	0.13%		振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.57%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	50.52%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.48%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0029

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0012 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

2,891.10000

機械構成比: 0.43%

労務構成比: 44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

当り

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油		0.17%		ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油		0.03%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)			B=50	1層当り平均仕上り厚(mm)		
C=6	再生密粒度アスファルト混合物(20)			E=2	PK-3		
G=2	小型車割増有			H=1	-		
I=1	-(全ての費用)						
【アスファルト混合物単価】							
1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値)							
1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)							

施工単価表

頁0 -0030

水切り工
床版下面 接着剤固定

V0000000070

單第0 -0013 表

100

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

基礎碎石		SPK25040034		単第0 -0014 表	
碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下		RC-40		1	
機械構成比: 5.04%		労務構成比: 74.10%		標準単価: 1,335.60000	
材料構成比: 20.86%		市場単価構成比: 0.00%		m2 当り	
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.01%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.95%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	16.17%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0032

基礎碎石

SPK25040034

單第0 -0014 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

機械構成比: 5.04% 勞務構成比: 74.10%

材料構成比: 20.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：¹

m2 当り
1,335.60000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0015 表

小型構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 41.15% 材料構成比: 58.85% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 36,756.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.25%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.85%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=2 小型車割増有		

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0016 表

1
標準単価:

m2 当り
9,147.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	44.28%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	30.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.86%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0035

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0017 表

1
標準単価: m3 当り
2,247.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し
土砂

SPK25040020
上記以外(小規模)

単第0 -0018 表

1
標準単価:

m3 当り
4,063.80000

機械構成比: 8.87%

労務構成比: 87.15%

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0037

埋戻し

土砂

機械構成比: 8.87%

勞務構成比： 87.15%

上記以外(小規模)

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

單第0 -0018 表

1
標準単価：

m3 当り
4,063.80000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90% 材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間無し 距離5.0km以下(4.0km超)

単第0 -0019 表
1
標準単価: 1,906.50000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=23 距離5.0km以下(4.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0039

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0020 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0040

鋪裝版切断

SPK25040307

單第0 -0020 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

勞務構成比：

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

700.44000

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK25040018

単第0 -0021 表

機械構成比: 20.13% 労務構成比: 71.97% 材料構成比: 7.90% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,747.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0042

ガス切断表面仕上工

V0000000060

單第0 -0022 表

25

m

当日

[illegible]

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 20.25%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離9.0km以下(7.0km超)
労務構成比: 71.03%

単第0 -0023 表
材料構成比: 8.72%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 6,479.10000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=38 運搬距離9.0km以下(7.0km超)		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT2t積2.9t吊
機械構成比: 13.79% 労務構成比: 83.40% 材料構成比: 2.81% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040411
片道運搬距離6.0km以下(4.0km超)

単第0 -0024 表
標準単価: 1t 当り
2,949.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.79%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.15%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=6 クレーン装置付BT2t積2.9t吊 片道運搬距離6.0km以下(4.0km超)			B=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0045

視線誘導標(土中建込用)

SS000077

單第0 -0025 表

本 当り

撤去

[規]10本未滿

[illegible]

施工単価表

頁0 -0046

視線誘導標(土中建込用)

SS000077

單第0 -0026 表

設置 - 片面反射 反射体 径 ϕ 300

[規]10本未滿

本 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0047

足場工(床版補強工)

S3030011

單第0 -0027 表

桁高1.5m未満

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0048

足場工（朝顔）（床版補強工）
両側朝顔

S3030013

單第0 -0028 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0049

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0029 表

シート張防護工

西側朝顔

m2

当り

[illegible]

施工単価表

環境対策資機材

V0000000100

単第0 -0030 表

頁0 -0050

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
負圧集塵装置 約19m3/min	1	台・月			
負圧集塵装置 基本管理料	1	式・台			
負圧集塵装置用1次フィルター 1枚/日	4	枚			
負圧集塵装置用2次フィルター 1枚/3日	1	枚			
負圧集塵装置用HEPAフィルター 1個/3ヵ月	1	個			
吸気用ダクト	1	本			
排気用ダクト	1	本			
エアーシャワー	1	台・月			
エアーシャワー 基本管理料	1	式・台			
エアーシャワー用プレフィルター 1枚/週	1	枚			
エアーシャワー用HEPAフィルター 3ヵ月/個	1	個			
セキュリティルーム パイプ・シートセット	1	セット			

施工単価表

頁0 -0051

環境対策資機材

V0000000100

單第0 -0030 表

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0052

安全衛生保護具

V0000000110

單第0 -0031 表

式 当り

[illegible]

4.大田代後畑1号橋 数量計算書

本 工 事 総 括 表

レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
道路維持								
	道路維持修繕工							大田代後畑1号橋
		橋梁塗装工						
			中性型水系剥離剤		m ²	150.6	151	
			塗替え塗装工	Rc-Ⅱ 塗装系	m ²	75.3	75	
			減肉部・孔食部補修工	ラスタッフ (E) 1100相当品	m ²	0.3	0.3	
		床版・高欄撤去工						
			笠木	75×45×t2.3	m	14.7	15	
			支柱(A)	75×45×t2.3	m	3.8	4	
			支柱(B)	40×40×t2.3	m	12.4	12	
			中棧	丸鋼 φ 13	m	14.3	14	
			縞鋼板	CHPL-4.5	m ²	21.1	21	
			撤去	ガス切断	m	29.3	29	
		縞鋼板製作架設工						
			縞鋼板	t=4.5mm	m ²	21.1	21	W=778.6kg
			現場溶接	すみ肉溶接6mm換算	m	45.0	45	
		桁端部土留工						
			コンクリート	σ ck=18N/mm2	m ³	0.7	0.7	
			型枠	小構造物	m ²	6.8	7	
			床堀	土砂	m ³	1.9	2	
			基礎碎石	RC-40	m ³	3.1	3	
			埋め戻し		m ³	0.6	0.6	
		防護柵設置工						
			防護柵工	転落防止柵H=1100	m	14.3	14	
			現場溶接	すみ肉溶接6mm換算	m	3.3	3	

本 工 事 総 括 表								
レベル1	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単 位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
道路維持								
	道路維持修繕工							大田代後畑1号橋
		構造物取壊し工						
			アスファルト舗装切断	t=4cmを想定	m	6.2	6	
			アスファルト舗装取壊し	t=4cm	m ²	3.1	3	
		舗装復旧工						
			アスファルト舗装工	t=50mm 再生密粒度A s (20) +RM-30 PK-3	m ²	2.2	2	
		運搬処理工						
			塗膜くず処分		kg	150.6	151	特管産業廃棄物(低濃度PCB)
			スクラップ処分	縞鋼板・防護柵	kg	888.6	889	
			アスファルト殻運搬		m ³	0.1	0.1	
			アスファルト殻処分		t	0.3	0.3	
		仮設工						
			足場組立・解体	吊足場(シート防護)	m ²	33.6	30	

大田代後畑1号橋 補修工数量計算書

1. 橋梁塗装工

塗装面積集計表(塗装塗り替え図より)

位置	部材名		塗装面積 (m2)
A1-A2	縞鋼板	t=4.5	40.9
	主桁G1	I-254×127×9.1×14	5.8
	主桁G2	H-250×125×6×9	6.1
	主桁G3	I-254×127×9.1×14	5.8
	支点横桁(A1)	H-300×150×6.5×9	2.7
	支点横桁(A2)	H-300×150×6.5×9	2.7
	拡幅桁(A)	H-250×125×6×9	3.1
	拡幅桁(B)	H-250×125×6×9	1.7
	拡幅桁(C)	H-250×125×6×9	3.3
	拡幅桁(D)	H-250×125×6×9	0.8
	下横構	L-40×40×t5	1.3
	プレート	225×620×t18	0.6
		225×490×t18	
	補強材(A)	L-40×40×t5	0.3
	補強材(B)	L-40×40×t5	0.2
合計			75.3

(1) 中性型水系剥離剤

ECO STRIPPER

A = (塗装面積集計表より) = 75.3 m2

(2) 塗替え塗装工

Rc-II 塗装系

A = (塗装面積集計表より) = 75.3 m2

(3) 減肉部・孔食部補修工

ラスタップ(E)1100

A = 0.1 + 0.2 = 0.3 m2

2. 防護柵・床版撤去工

(1) 部材撤去

左側防護柵

・ 笠木 75×45×t2.3

$$L = 7.78$$

$$W = 7.8 \times 4.06$$

$$= 7.8 \text{ m}$$

$$= 31.6 \text{ kg}$$

・ 支柱(A) 75×45×t2.3

$$L = 0.96 \times 2$$

$$W = 1.9 \times 4.06$$

$$= 1.9 \text{ m}$$

$$= 7.8 \text{ kg}$$

・ 支柱(B) 40×40×t2.3

$$L = 0.96 \times 7$$

$$W = 6.69 \times 2.62$$

$$= 6.7 \text{ m}$$

$$= 17.5 \text{ kg}$$

・ 中棧 丸鋼φ13

$$L = 7.59$$

$$W = 7.6 \times 1.04$$

$$= 7.6 \text{ m}$$

$$= 7.9 \text{ kg}$$

・ 左側防護柵重量

$$W = 31.6 + 7.75 + 17.51 + 7.89$$

$$= 64.7 \text{ kg}$$

右側防護柵

・ 笠木 75×45×t2.3

$$L = 6.9$$

$$W = 6.9 \times 4.06$$

$$= 6.9 \text{ m}$$

$$= 28.0 \text{ kg}$$

・ 支柱(A) 75×45×t2.3

$$L = 0.96 \times 2$$

$$W = 1.9 \times 4.06$$

$$= 1.9 \text{ m}$$

$$= 7.8 \text{ kg}$$

・ 支柱(B) 40×40×t2.3

$$L = 0.96 \times 6$$

$$W = 0.96 \times 2.62$$

$$= 5.7 \text{ m}$$

$$= 2.5 \text{ kg}$$

・ 中棧 丸鋼φ13

$$L = 6.72$$

$$W = 6.7 \times 1.04$$

$$= 6.7 \text{ m}$$

$$= 7.0 \text{ kg}$$

・ 右側防護柵重量

$$W = 28.0 + 7.75 + 2.50 + 6.99$$

$$= 45.3 \text{ kg}$$

防護柵切断

笠木 75×45 N = 6 箇所

支柱(A) 75×45 N = 4 箇所

支柱(B) 40×40 N = 13 箇所

$$= 4.48 \text{ m}$$

床版（縞鋼板）

ガス切断

$$L = 2.438 \times 4 + 2.888 + 2.419 + 2.239 + 7.510$$

$$= 24.81 \text{ m}$$

縞鋼板重量

A = 別添資料のとおり

$$= 21.05 \text{ m}^2$$

$$W = 21.05 \times 36.99$$

$$= 778.6 \text{ kg}$$

(2) スクラップ重量

$$W = 64.75 + 45.26 + 778.64$$

$$= 888.6 \text{ kg}$$

3. 桁端部土留工

(1) 床堀

土砂

$$V = 0.3 \times 1.99 + 0.3 \times 4.23 = \underline{\underline{1.9 \text{ m}^3}}$$

(2) 基礎碎石

RC-40 t=150mm

$$A = 0.50 \times (1.99 + 4.23) = \underline{\underline{3.1 \text{ m}^2}}$$

(3) コンクリート

$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$

$$V = (0.15 + 0.30) \times 1/2 \times 0.50 \times (1.99 + 4.23) = \underline{\underline{0.7 \text{ m}^3}}$$

(4) 型枠

小構造物

$$A = (0.50 + 0.56) \times (1.99 + 4.23) + (0.15 + 0.30) \times 1/2 \times 0.50 \times 2 = \underline{\underline{6.8 \text{ m}^2}}$$

(5) 埋め戻し

土砂

$$V = 0.1 \times 1.99 + 0.1 \times 4.23 = \underline{\underline{0.6 \text{ m}^3}}$$

4. 防護柵設置工

転落防止柵H=1100

$$L = 7.585 + 6.726 = \underline{\underline{14.3 \text{ m}}}$$

5. 水切り材設置工

ウォーターカッター相当

$$L = 7.585 + 6.726 = \underline{\underline{14.3 \text{ m}}}$$

6. 構造物取壊し工

(1) As舗装版切断

厚さ4cmと仮定

$$L = 1.99 + 4.230 = \underline{\underline{6.2 \text{ m}}}$$

(2) As舗装版取壊し

厚さ4cmと仮定

$$A = 0.50 \times (1.99 + 4.23) = \underline{\underline{3.1 \text{ m}^2}}$$

$$V = 3.1 \times 0.04 = \underline{\underline{0.1 \text{ m}^3}}$$

7. 舗装復旧工

表層：再生密粒度As(20) プライムコート：PK-3 路盤：RM-30

$$A = 0.35 \times (1.99 + 4.23) = \underline{\underline{2.2 \text{ m}^2}}$$

8. 運搬処理工

(1) 綹鋼板・防護柵スクラップ処分

$$W = 888.6 = \underline{\underline{888.6 \text{ kg}}}$$

(2) As殻運搬

$$V = 3.1 \times 0.04 = \underline{\underline{0.1 \text{ m}^3}}$$

(3) As殻処分

$$W = 0.1 \times 2.35 = \underline{\underline{0.3 \text{ t}}}$$

As単位重量(密粒 車道)

9. 仮設工

(1) 吊足場(両側朝顔 ネット防護)

図面より

$$A = 33.60 = \underline{\underline{33.6 \text{ m}^2}}$$

(2) 安全環境対策設備

※既設塗膜には、PCB・鉛・クロムが含まれているため、既設塗膜除去作業時には、下記の設備及び保護具を準備すること

①環境対策資機材

- ・負圧集塵装置
- ・エアシャワー
- ・真空掃除機

②安全衛生保護具

- ・電動ファン付き呼吸用保護具
- ・使い捨て防護服
- ・防護手袋
- ・シューズカバー

etc. 現場溶接工

縞鋼板 CHPL-4.5

部材名	規格	単位重量 (kg/m ²)	面積 (m ²)	数量	重量 (kg)
縞鋼板(A)	1219×2438	36.99	2.97	4	439.4
縞鋼板(B)	1524×2438~2888	36.99	3.93	1	145.4
縞鋼板(C)	220~1005×2727	36.99	1.52	1	56.2
縞鋼板(D)	1020~1200×2438	36.99	2.71	1	100.2
縞鋼板(E)	230~671×2239	36.99	1.01	1	37.4

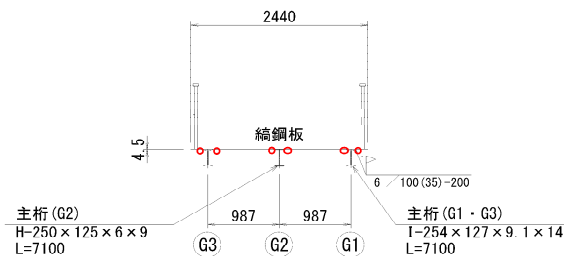
$$A = 21.05 \text{ m}^2$$

$$W = 21.05 \times 36.99$$

$$W = 778.6 \text{ kg}$$

(1) すみ肉溶接

○ 脚長 6mm



$$\text{主桁 (G1)} \quad L = 7100 \div 200 = 35 \times 100 \times 2$$

$$L = 7.00 \text{ m}$$

$$\text{主桁 (G2)} \quad L = 7100 \div 200 = 35 \times 100 \times 2$$

$$L = 7.00 \text{ m}$$

$$\text{主桁 (G3)} \quad L = 7100 \div 200 = 35 \times 100 \times 2$$

$$L = 7.00 \text{ m}$$

$$\text{拡幅桁 (A)} \quad L = 3630 \div 200 = 18 \times 100 \times 2$$

$$L = 3.60 \text{ m}$$

$$\text{拡幅桁 (B)} \quad L = 1920 \div 200 = 9 \times 100 \times 2$$

$$L = 1.80 \text{ m}$$

$$\text{拡幅桁 (C)} \quad L = 3850 \div 200 = 19 \times 100 \times 2$$

$$L = 3.80 \text{ m}$$

$$\text{拡幅桁 (D)} \quad L = 910 \div 200 = 4 \times 100 \times 2$$

$$L = 0.80 \text{ m}$$

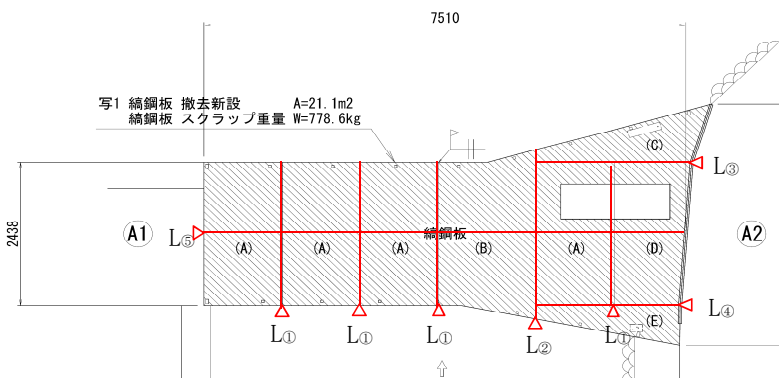
$$\text{小計} = 31.00 \text{ m}$$

(2) 突合せ溶接

△ 脚長 4.5mm

$$\begin{aligned} L_1 &= 2438 \times 4 \text{ 箇所} \\ L_2 &= 2888 \times 1 \text{ 箇所} \\ L_3 &= 2419 \times 1 \text{ 箇所} \\ L_4 &= 2239 \times 1 \text{ 箇所} \\ L_5 &= 7510 \times 1 \text{ 箇所} \\ \Sigma L &= 24.81 \text{ m} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{換算延長} &= (S^2 \times L) / 36 \text{ より} \\ S &: \text{脚長 (mm)} \\ L &: \text{実溶接延長 (m)} \\ &= (4.5^2 \times 24.81) / 36 \end{aligned}$$



$$\text{小計} = 13.96 \text{ m}$$

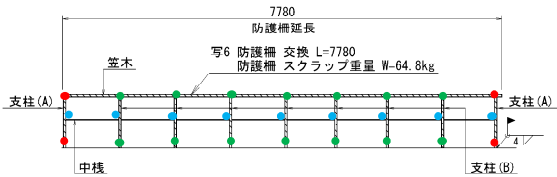
$$\text{合計} = 44.96 \text{ m}$$

防護柵工

(1)すみ肉溶接

(○は各部材ごと) 脚長 4mm

左側防護柵正面図



左側防護柵重量表

部材名	規格	単位重量 (kg/m)	長さ (m)	数量	重量 (kg)
支柱(A)	STKR□75×45×L2.3	4.06	0.955	2	7.755
支柱(B)	STKR□40×40×L2.3	2.62	0.955	7	17.515
笠木	STKR□75×45×L2.3	4.06	7.780	1	31.587
中棧	丸鋼φ13(JIS G 3991)	1.51	7.590	1	7.894
小計					64./51

● 支柱(A)

L = □75×75 × 4 箇所 (縞鋼板接続部N=2、笠木接続部N=2)

L = 1.20 m

● 支柱(B)

L = □40×40 × 14 箇所 (縞鋼板接続部N=7、笠木接続部N=7)

L = 2.24 m

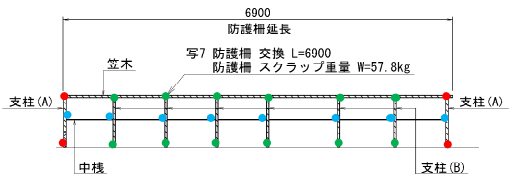
● 中棧 丸鋼φ13

L = 75 × 2 + 40 × 7 (支柱接続部N=9)

L = 0.43 m

小計 = 3.87 m

右側防護柵正面図



右側防護柵重量表

部材名	規格	単位重量 (kg/m)	長さ (m)	数量	重量 (kg)
支柱(A)	STKR□75×45×L2.3	4.06	0.955	2	7.755
支柱(B)	STKR□40×40×L2.3	2.62	0.955	6	15.013
笠木	STKR□75×45×L2.3	4.06	6.900	1	28.014
中棧	丸鋼φ13(JIS G 3991)	1.04	6.720	1	6.999
小計					57./81

● 支柱(A)

L = □75×75 × 4 箇所 (縞鋼板接続部N=2、笠木接続部N=2)

L = 1.20 m

● 支柱(B)

L = □40×40 × 12 箇所 (縞鋼板接続部N=6、笠木接続部N=6)

L = 1.92 m

● 中棧 丸鋼φ13

L = 75 × 2 + 40 × 6 (支柱接続部N=8)

L = 0.39 m

小計 = 3.51 m

合計 = 7.38 m

換算延長 = (S²×L) /36 より

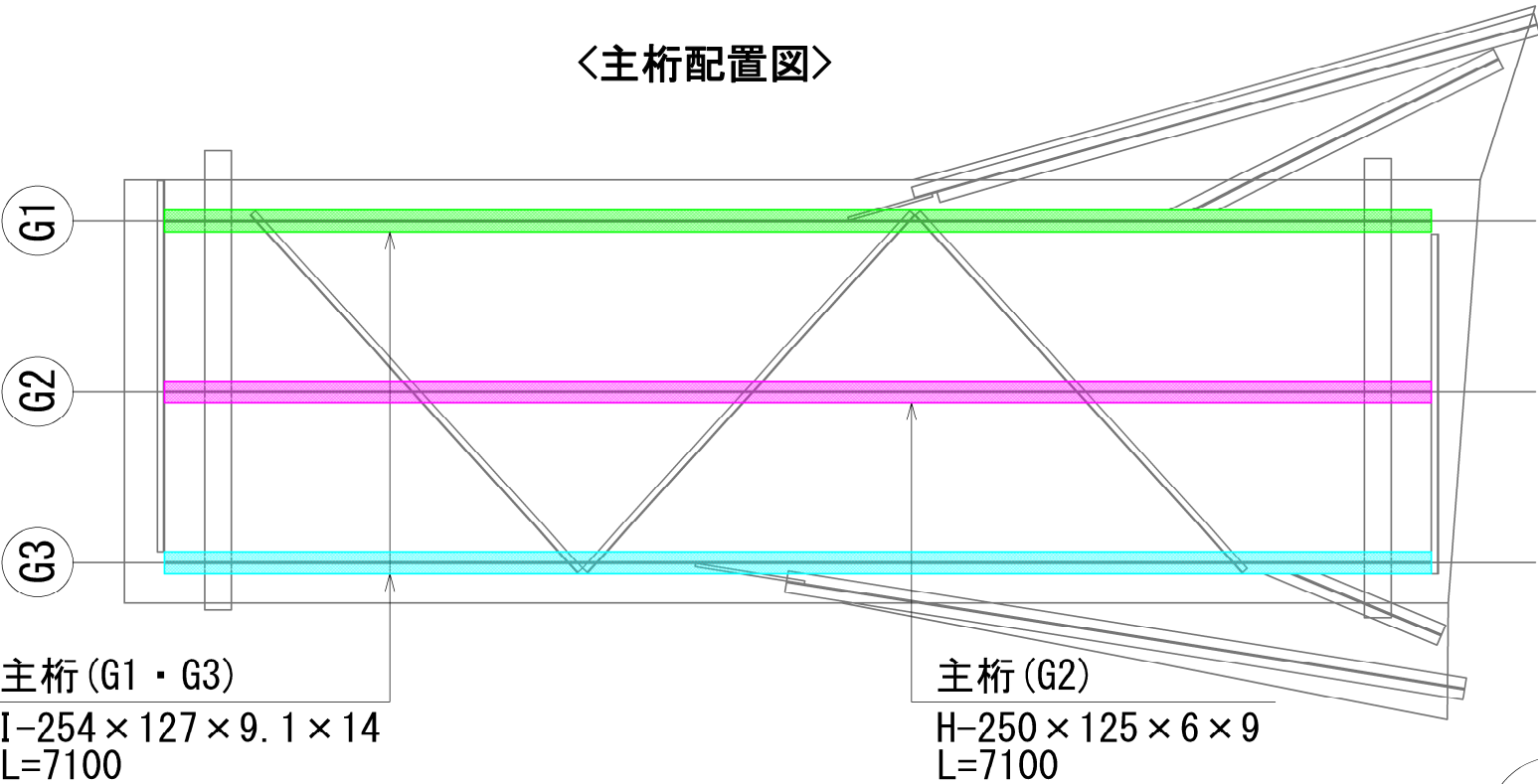
S:脚長(mm)

L:実溶接延長(m)

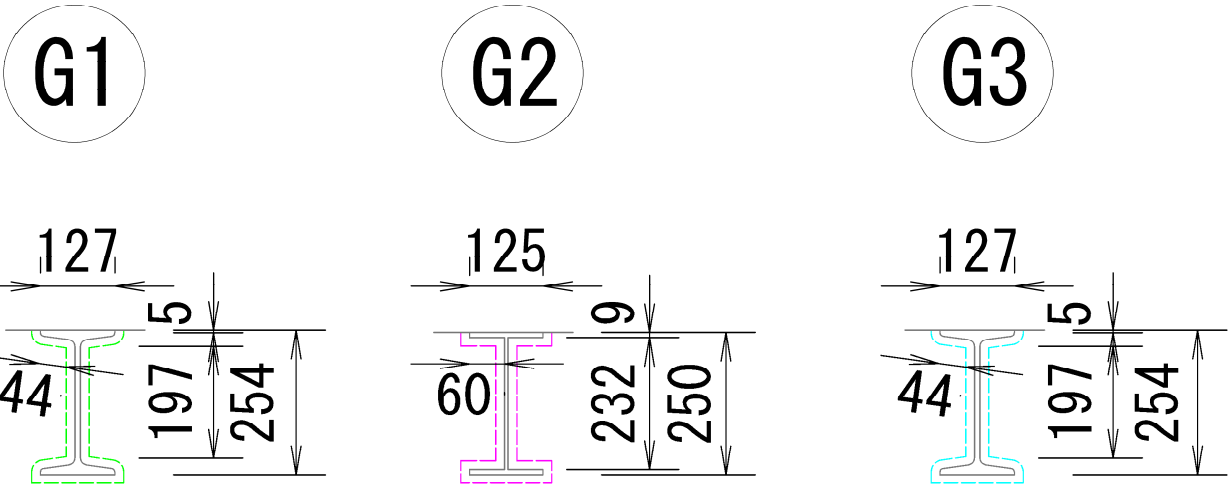
= (4²×7.38) /36

合計 = 3.28 m

＜主桁配置図＞



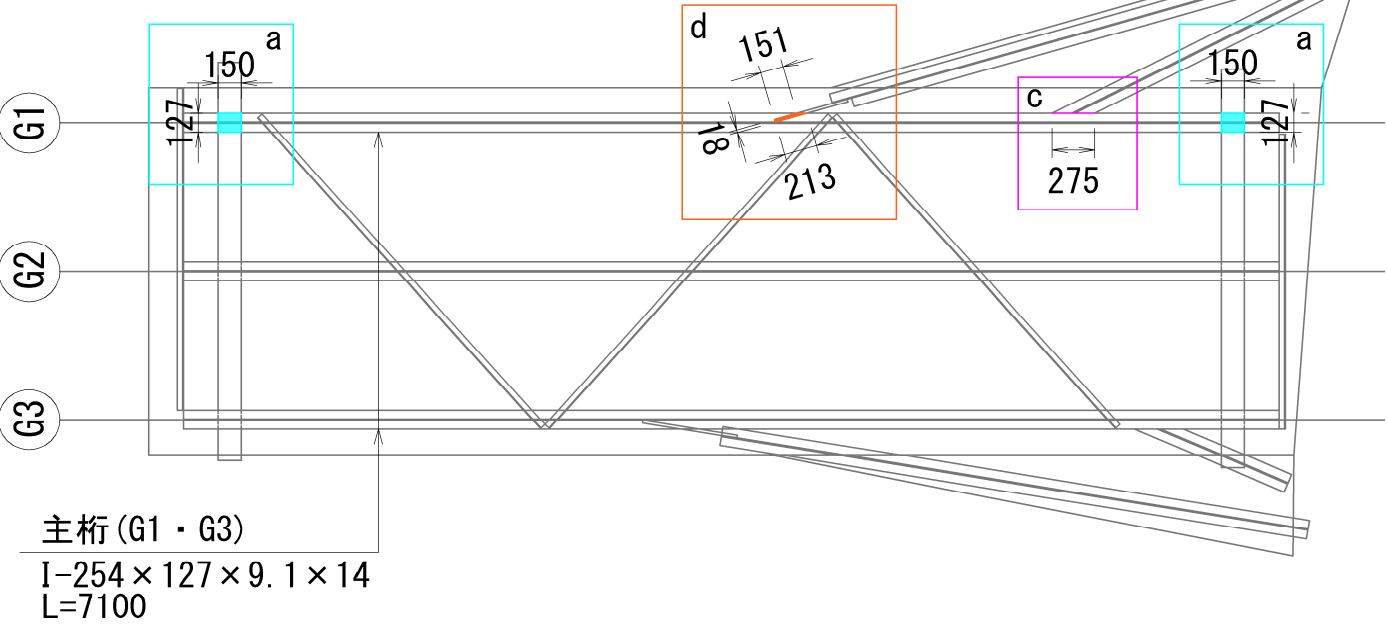
＜桁詳細図＞



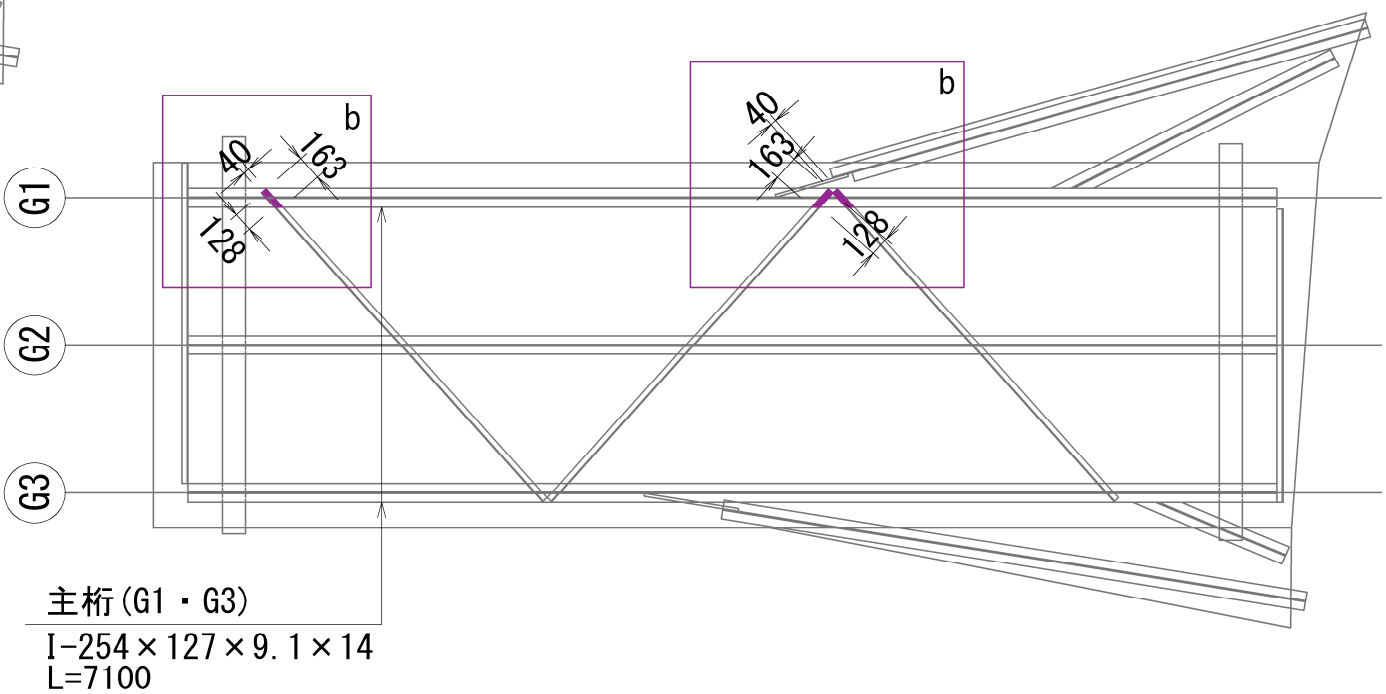
計 算 式

主桁 G1	$\frac{\{(0.005 + 0.009 + 0.044 + 0.017) \times 2 + 0.197 + 0.064\} \times 2 \times 7.100 + 0.127 \times 0.014 \times 3 + 0.226 \times 0.009 \times 2}{\text{I-254} \times 127 \times 9.1 \times 14 \text{ の全長} \quad \text{端部}}$ $- \{ \underbrace{0.127 \times 0.150 \times 2}_a + \underbrace{(0.128 + 0.163) \times 1/2 \times 0.040 \times 3}_b + \underbrace{0.275 \times 0.009 \times 2}_c + \underbrace{(0.151 + 0.213) \times 1/2 \times 0.018 \times 2}_d \} = 5.8 \text{ m}^2$
主桁 G2	$\frac{\{(0.009 + 0.060) \times 2 + 0.232 + 0.063\} \times 2 \times 7.100 + (0.232 \times 0.006 + 0.125 \times 0.009) \times 2 - (0.125 \times 0.150 \times 2 + 0.054 \times 0.167 \times 3)}{\text{H-250} \times 125 \times 6 \times 9 \text{ の全長} \quad \text{端部} \quad a \quad b} = 6.1 \text{ m}^2$
主桁 G3	$\frac{\{(0.005 + 0.009 + 0.044 + 0.017) \times 2 + 0.197 + 0.064\} \times 2 \times 7.100 + 0.127 \times 0.014 \times 3 + 0.226 \times 0.009 \times 2}{\text{I-254} \times 127 \times 9.1 \times 14 \text{ の全長} \quad \text{端部}}$ $- \{ \underbrace{0.127 \times 0.150 \times 2}_a + \underbrace{(0.128 + 0.163) \times 1/2 \times 0.040 \times 3}_b + \underbrace{0.318 \times 0.009 \times 2}_c + \underbrace{(0.367 + 0.256) \times 1/2 \times 0.018 \times 2}_d \} = 5.8 \text{ m}^2$

＜主桁G1接地面配置図＞



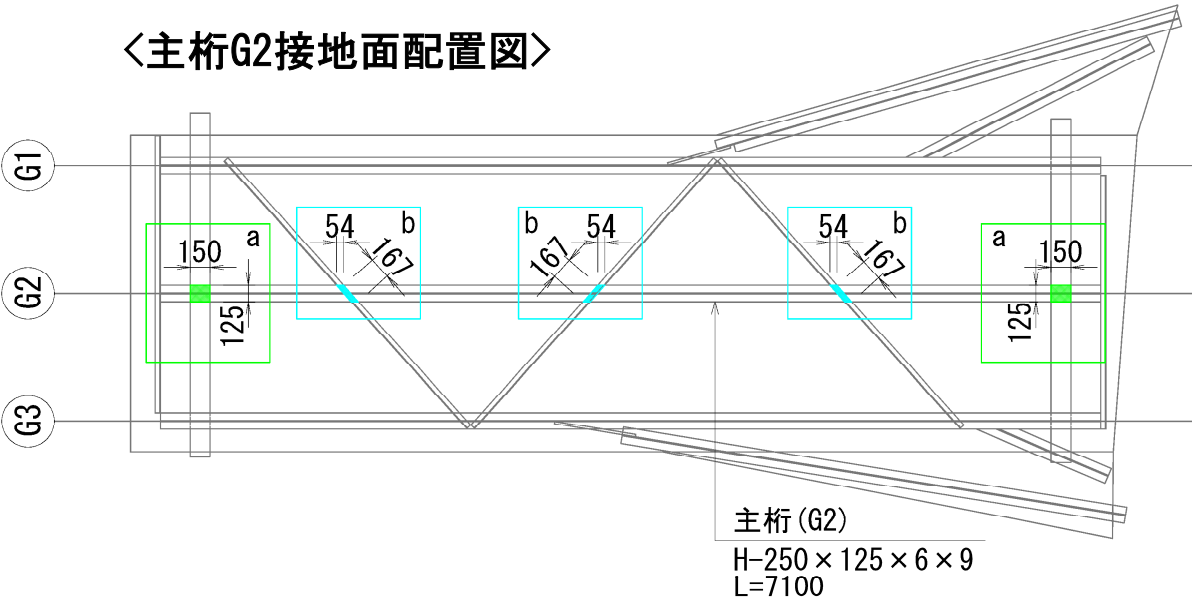
＜主桁G1接地面配置図＞



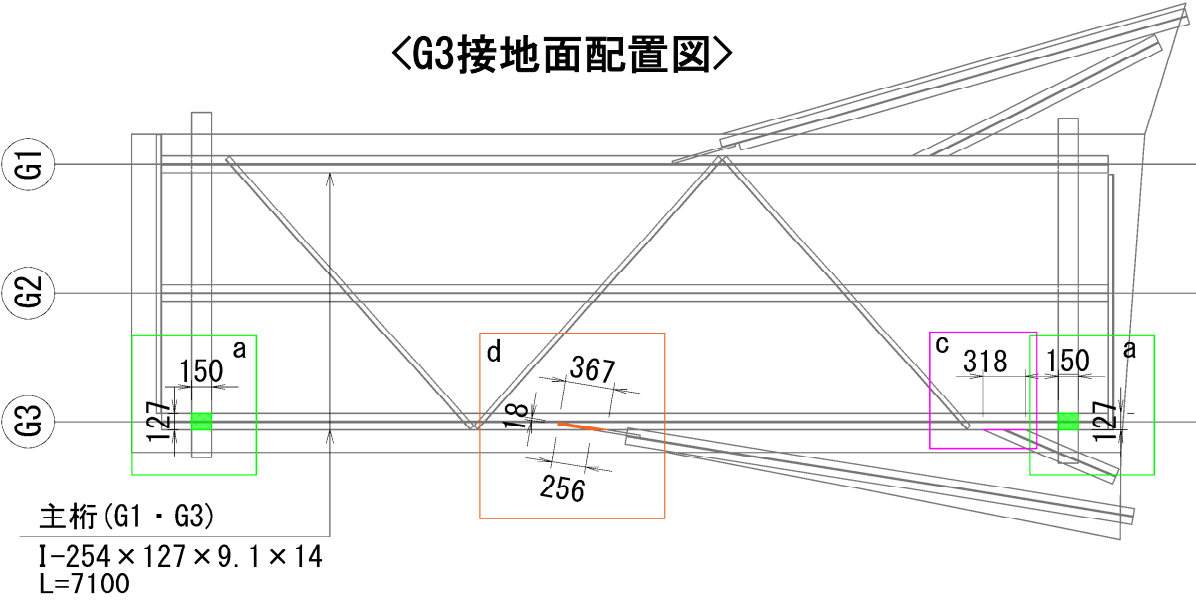
計算式

主桁①と同様の計算式

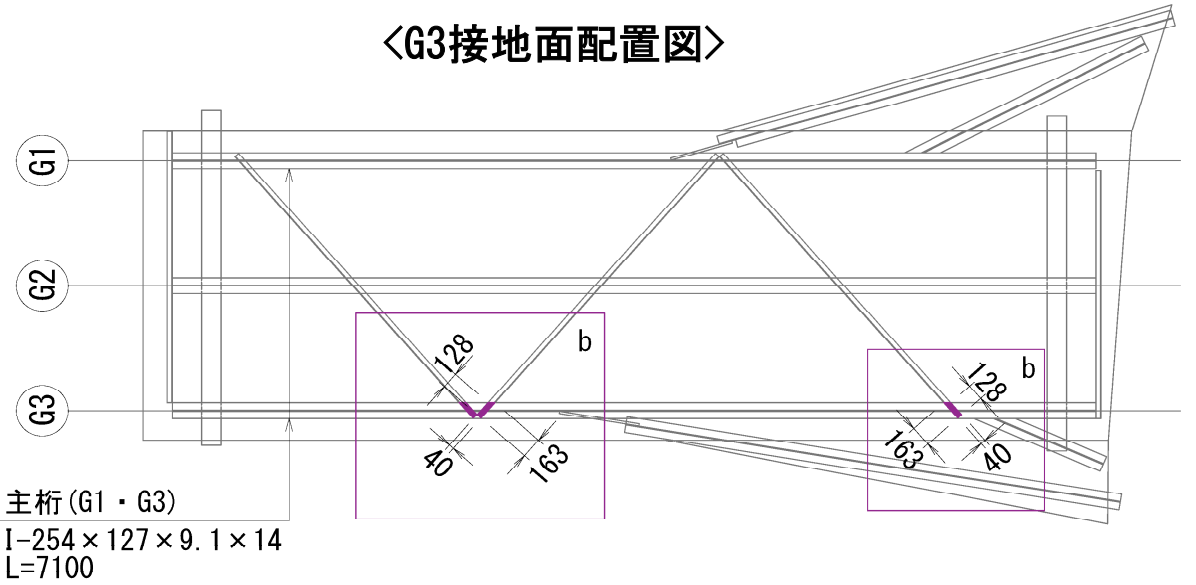
＜主桁G2接地面配置図＞



＜G3接地面配置図＞



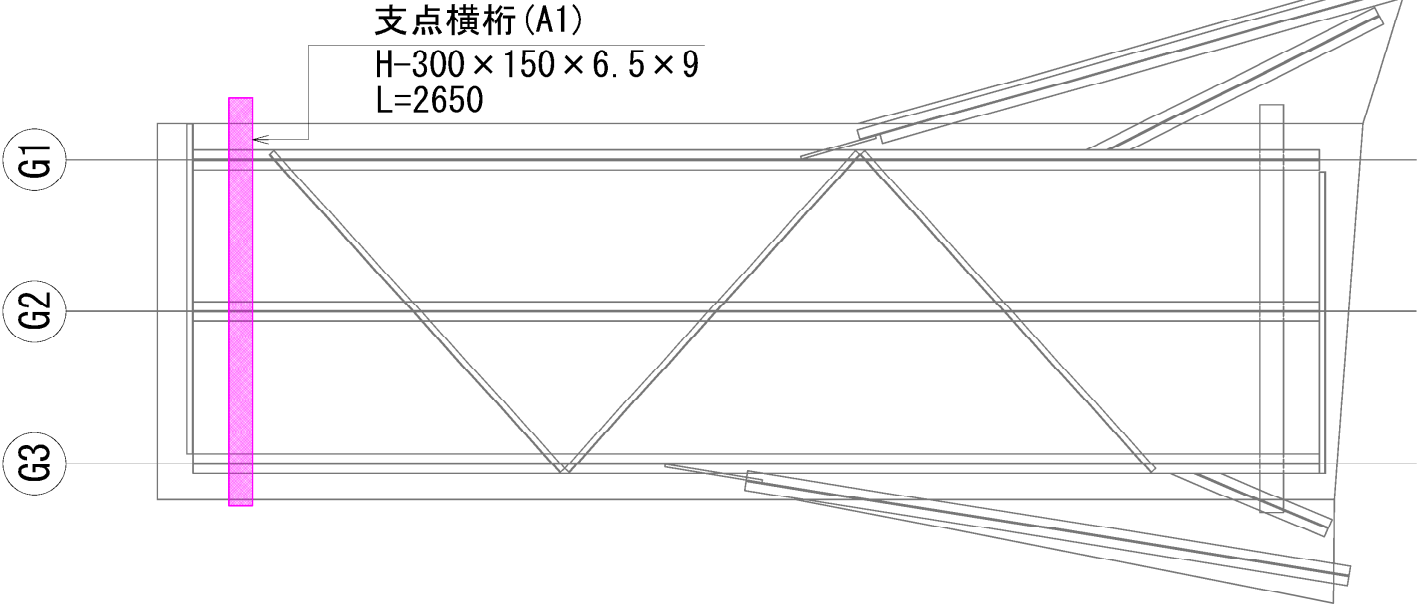
＜G3接地面配置図＞



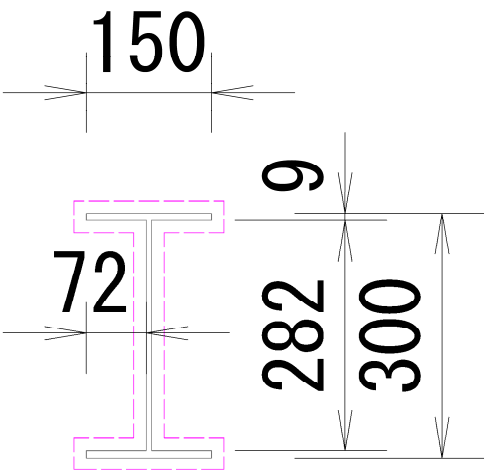
計算式

主桁①と同様の計算式

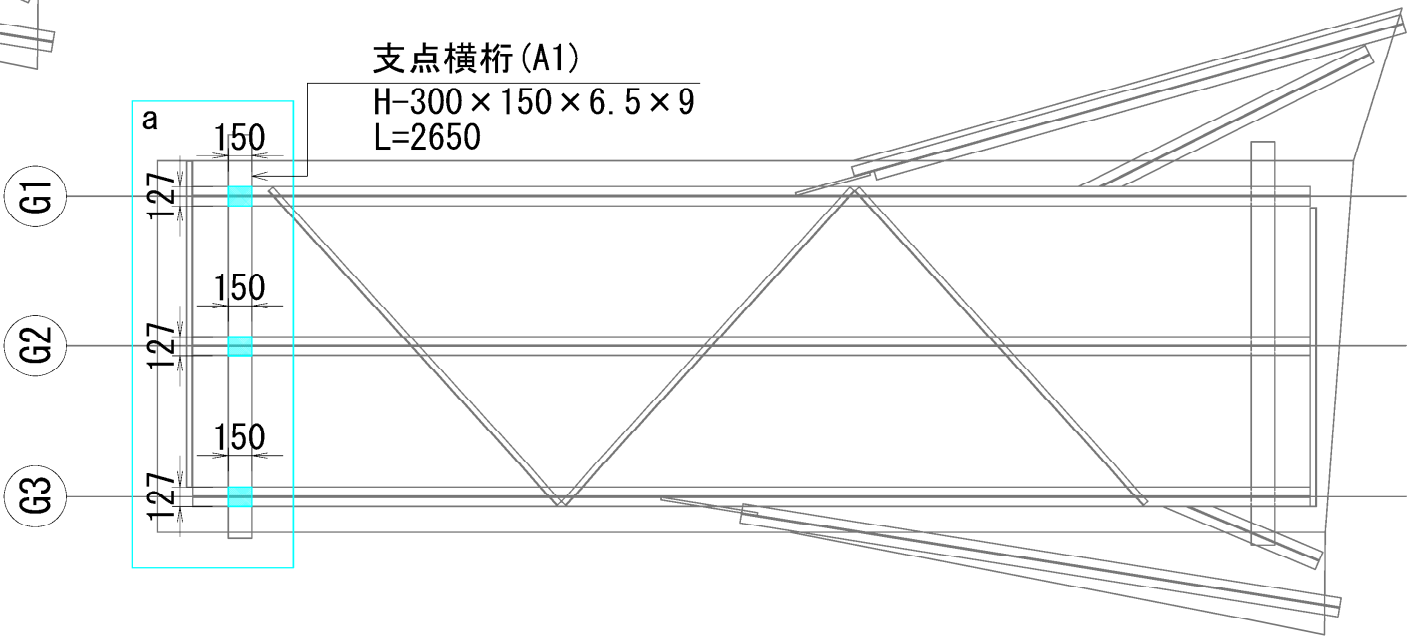
＜支点横桁A1配置図＞



＜支点横桁A1詳細図＞



＜支点横桁A1接地面配置図＞

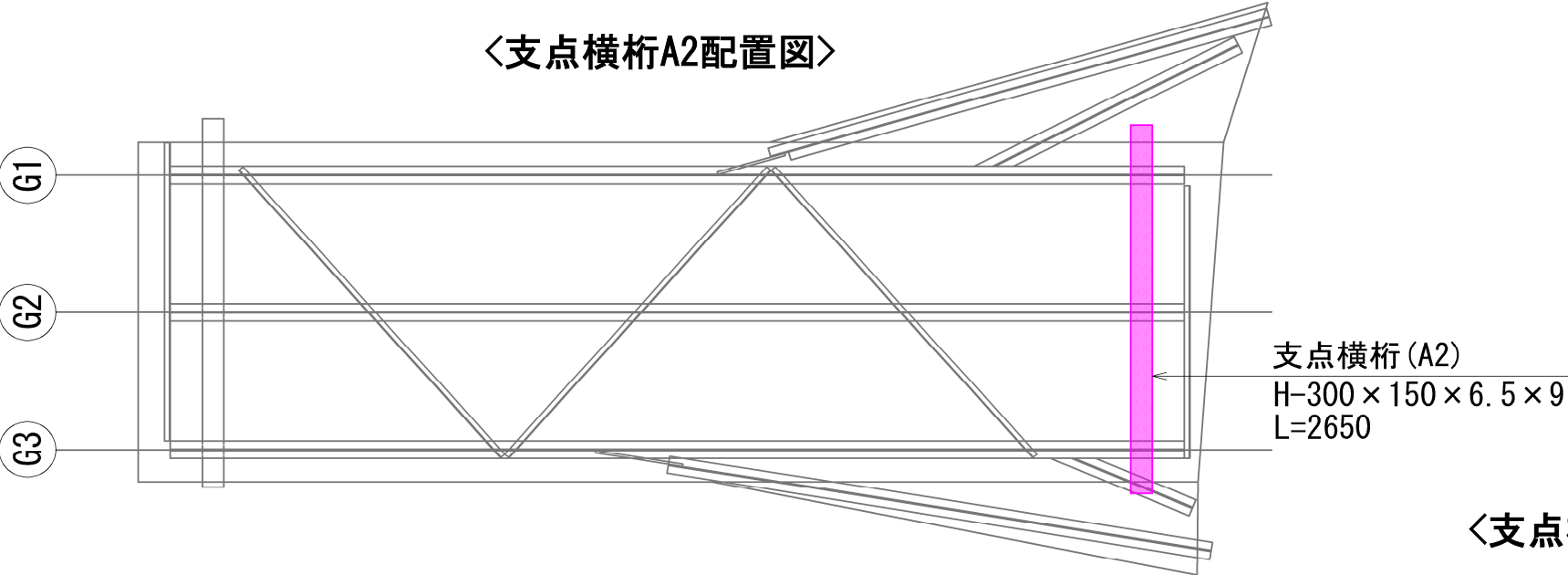


計 算 式

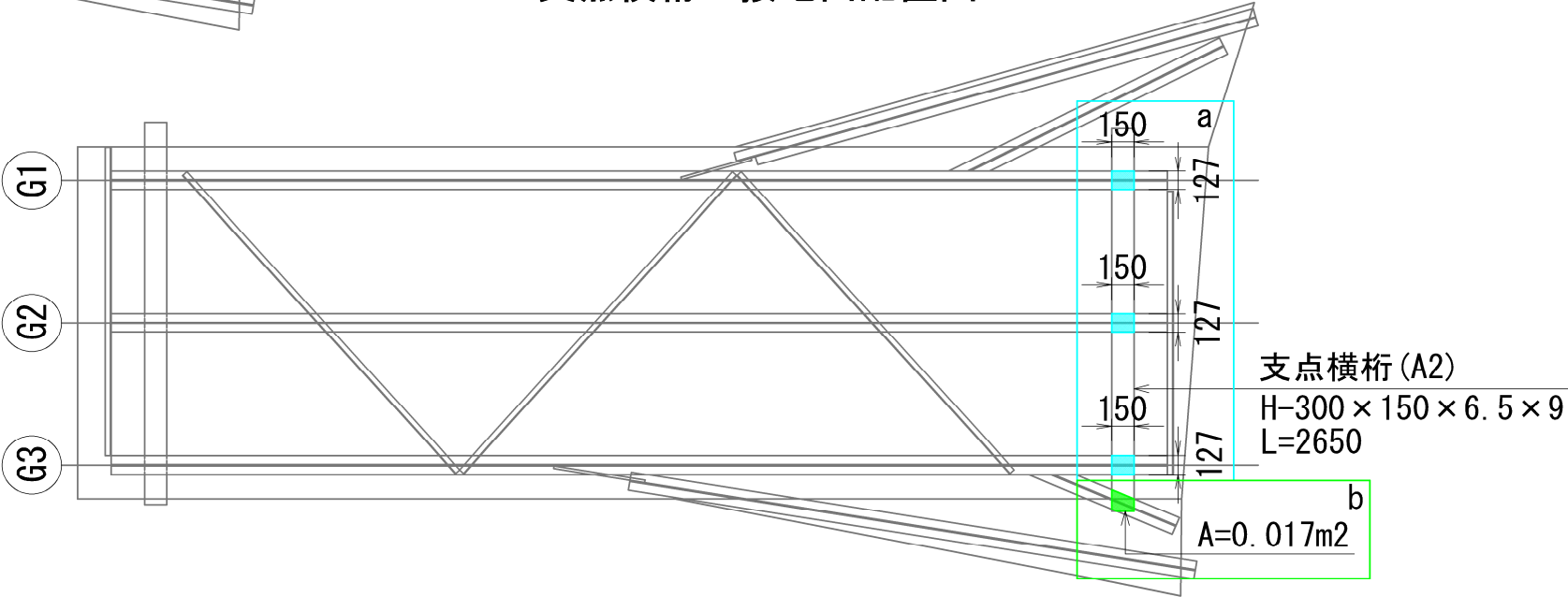
支点横桁 (A1) $\{ (0.009 + 0.072) \times 2 + 0.075 + 0.282 \} \times 2 \times 2.650 + (0.150 \times 0.009 \times 2 + 0.282 \times 0.007) \times 2 - 0.127 \times 0.150 \times 3 = 2.7 \text{ m}^2$

H-300×150×6.5×9の全長 端部 a

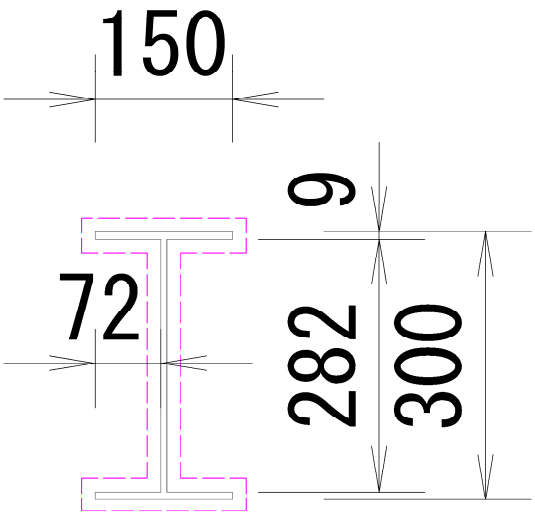
＜支点横桁A2配置図＞



＜支点横桁A2接地面配置図＞



＜支点横桁A2詳細図＞

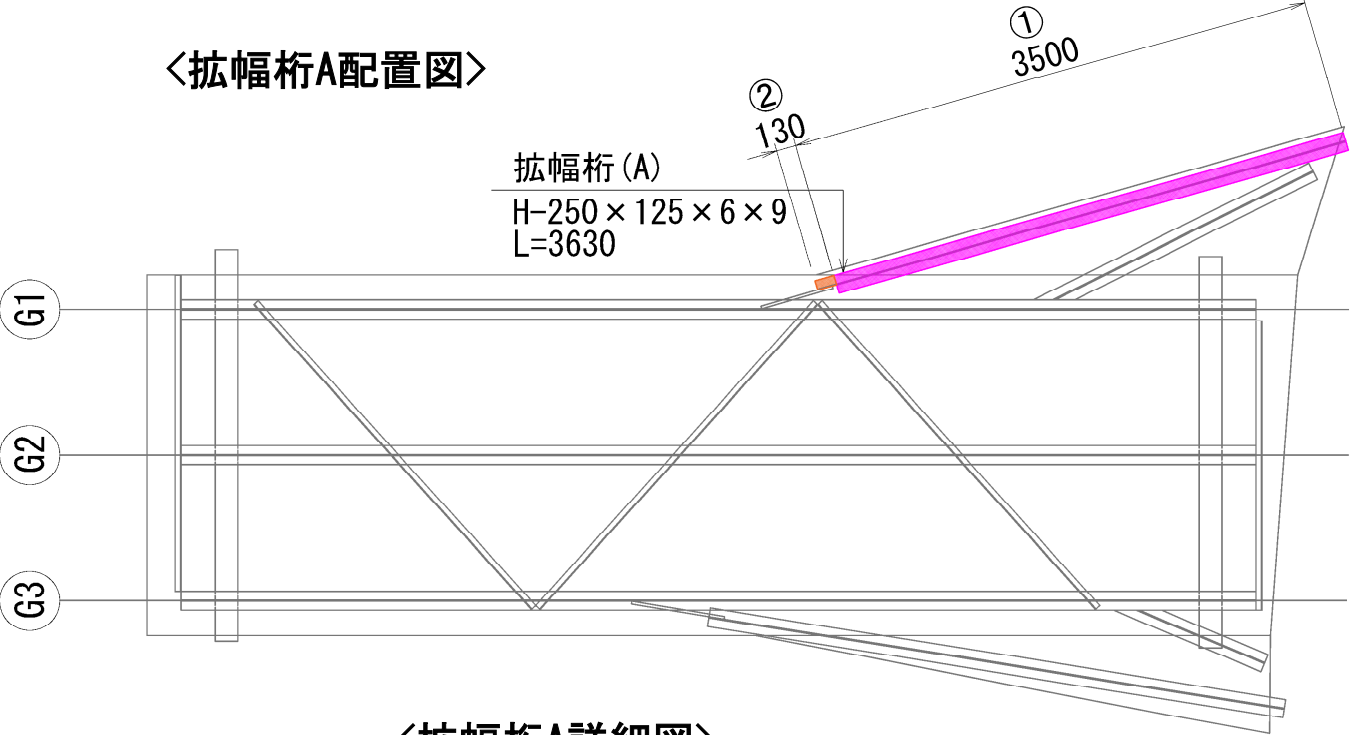


計 算 式

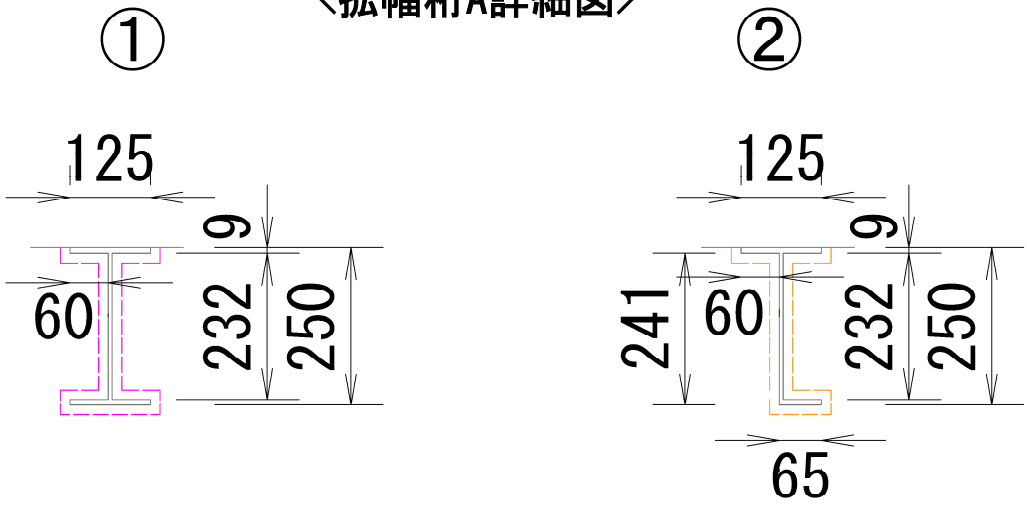
支点横桁(A1) $\frac{\{ (0.009 + 0.072) \times 2 + 0.075 + 0.282 \} \times 2 \times 2.650}{\text{H-300} \times 150 \times 6.5 \times 9 \text{の全長}} + \frac{(0.150 \times 0.009 \times 2 + 0.282 \times 0.007) \times 2}{\text{端部}} - \frac{(0.127 \times 0.150 \times 3)}{a} + \frac{0.017}{b} = 2.7 \text{ m2}$

数量計算書（拡幅桁A）

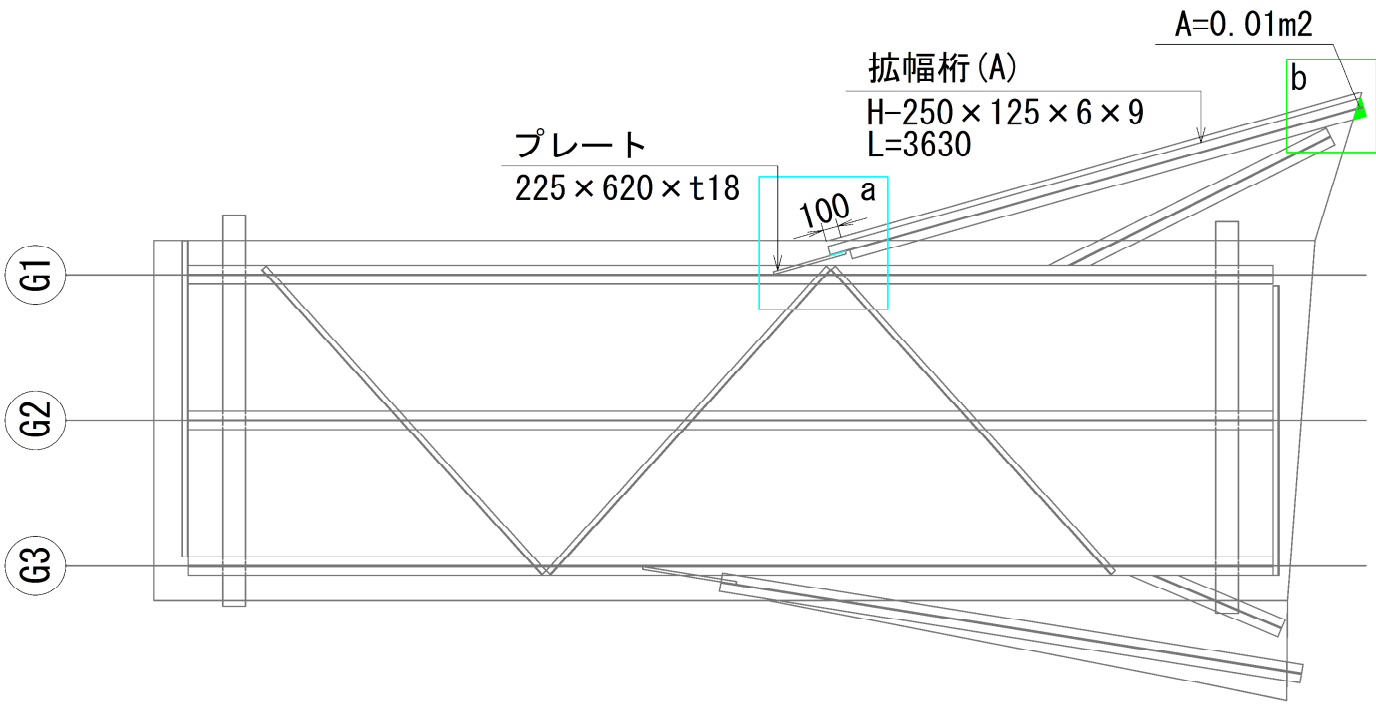
＜拡幅桁A配置図＞



＜拡幅桁A詳細図＞



＜拡幅桁A接地面配置図＞



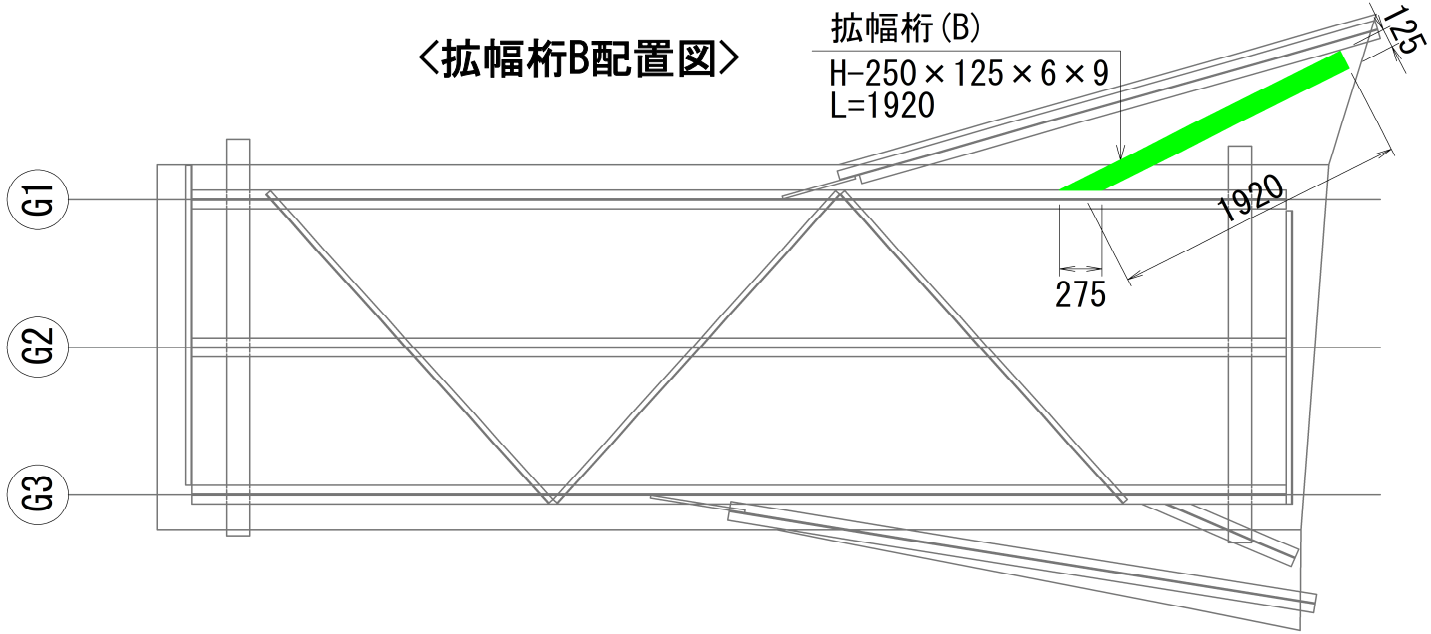
計算式

拡幅桁(A) $\frac{\{ (0.009 + 0.060) \times 2 + 0.232 + 0.063 \} \times 2 \times 3.500}{\text{①の全長}} + \frac{\{ (0.009 + 0.060) \times 3 + 0.241 + 0.232 + 0.065 \} \times 0.130}{\text{②の全長}} + \frac{(0.125 + 0.065) \times 0.009 + 0.232 \times 0.006}{\text{端部}}$

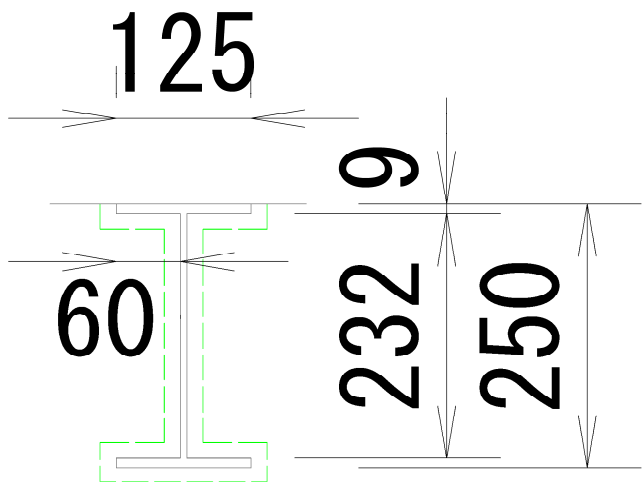
$-\frac{(0.100 \times 0.225)}{a} + \frac{0.01}{b} = 3.1 \text{ m}^2$

数量計算書（拡幅桁B）

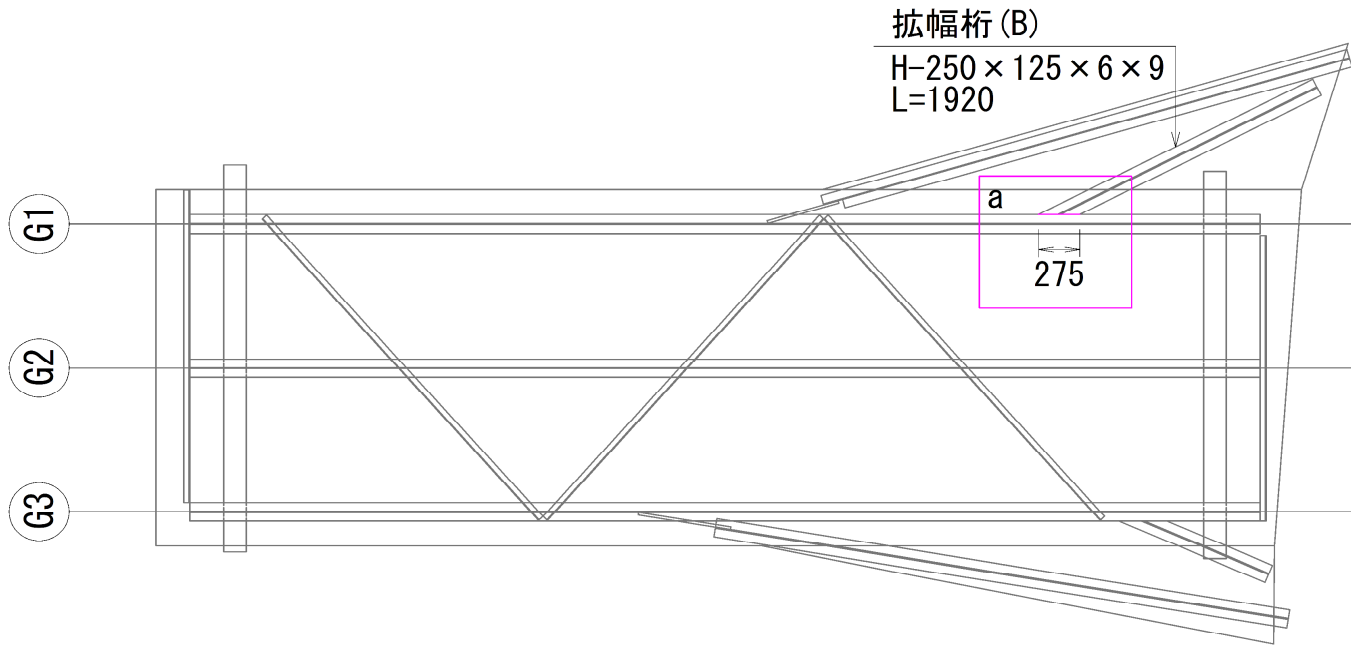
＜拡幅桁B配置図＞



＜拡幅桁B詳細図＞



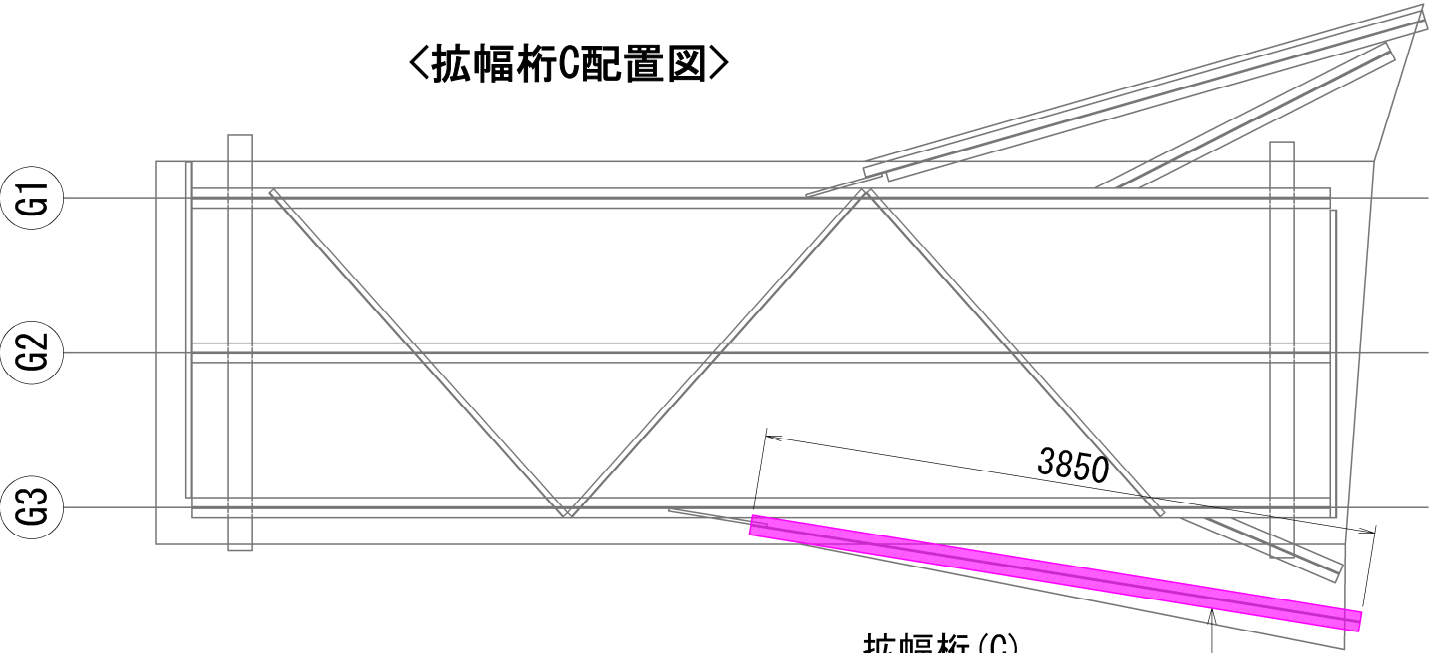
＜拡幅桁B接地面配置図＞



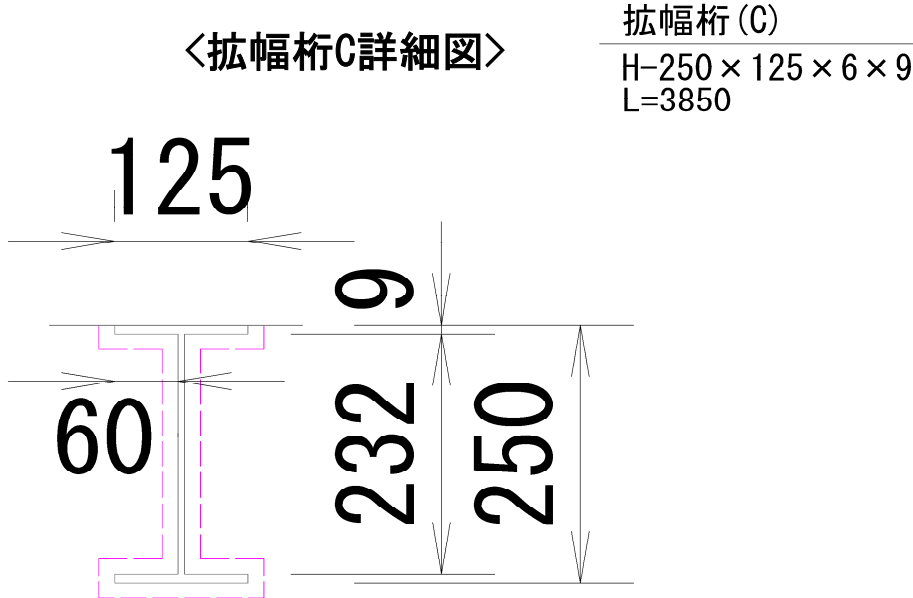
計算式

拡幅桁(B) $\frac{\{ (0.009 + 0.060) \times 2 + 0.232 + 0.063 \} \times 2 \times 1.920}{\text{H-250} \times 125 \times 6 \times 9 \text{の全長}} + \frac{(0.125 + 0.275) \times 0.009 \times 2 + 0.232 \times 0.006 \times 2}{\text{端部}} - \frac{0.275 \times 0.009 \times 2}{a} = 1.7 \text{ m}^2$

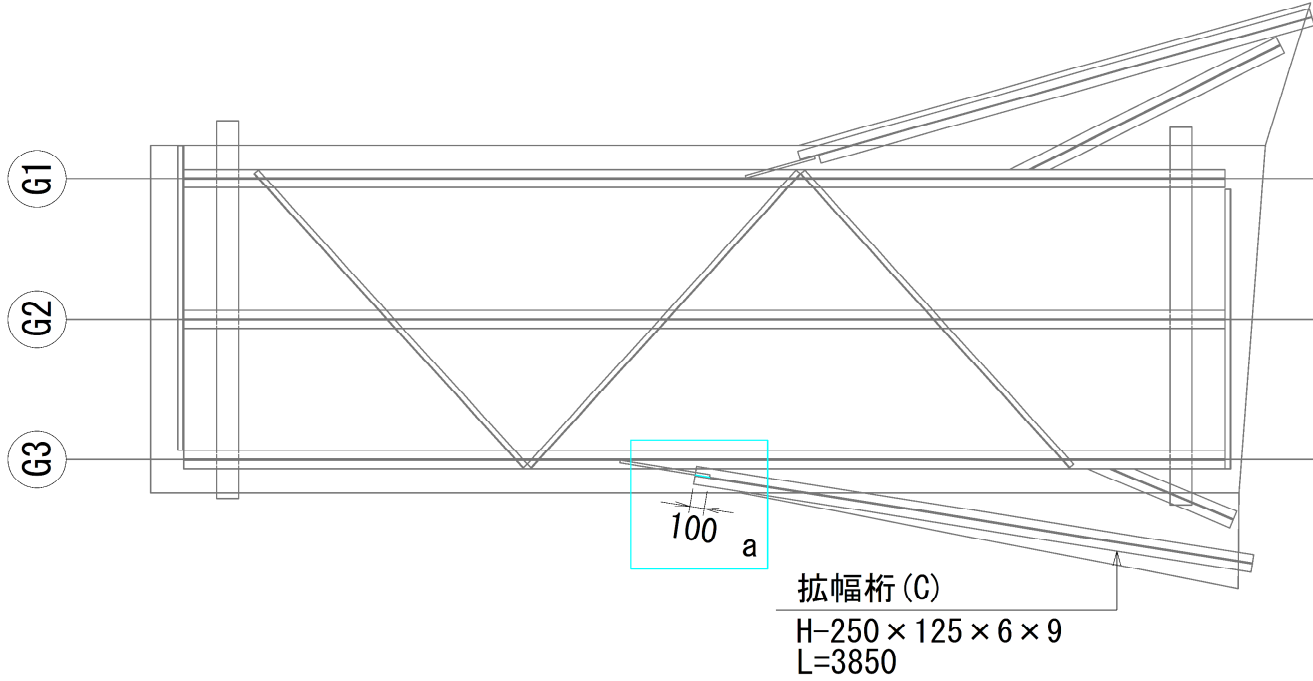
＜拡幅桁C配置図＞



＜拡幅桁C詳細図＞



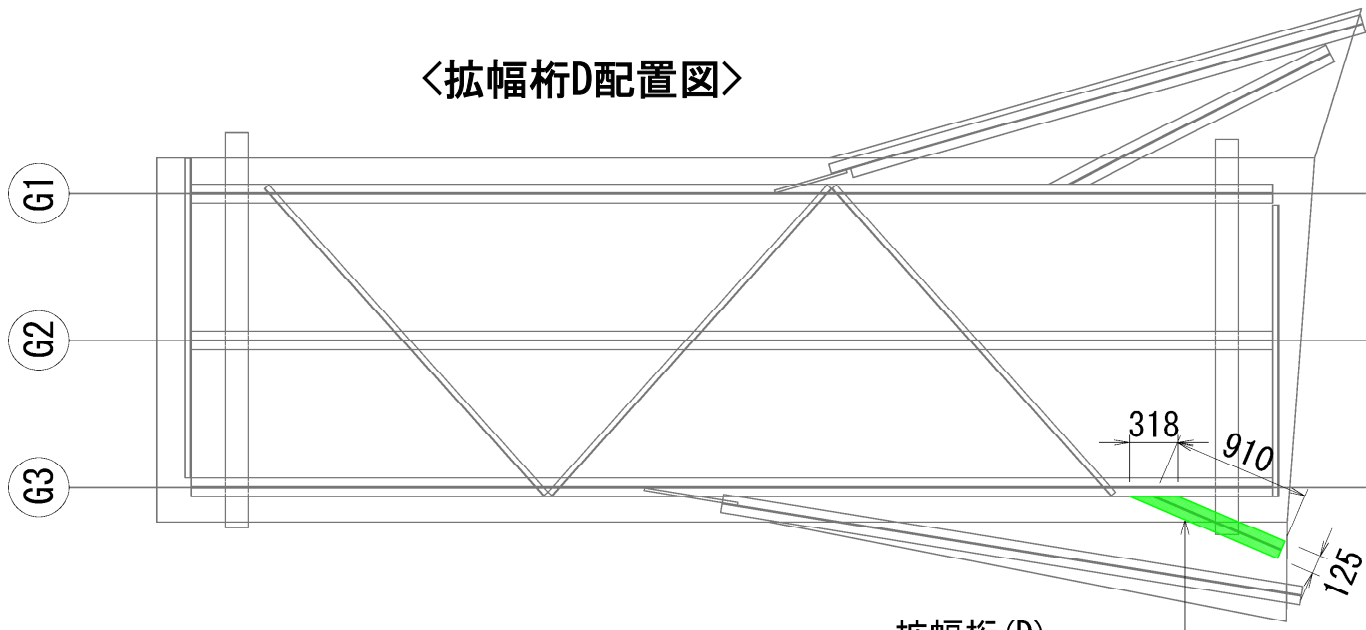
＜拡幅桁C接地面配置図＞



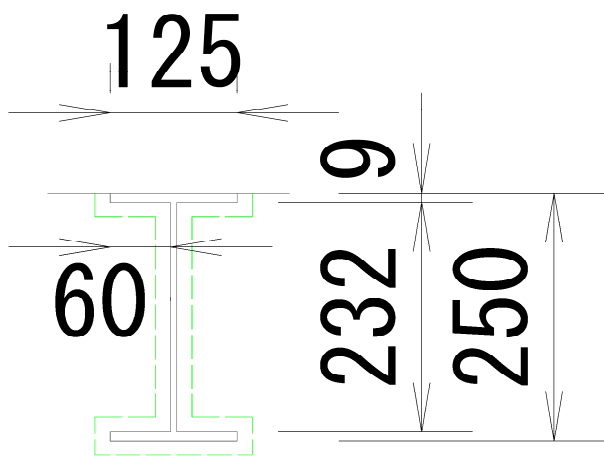
計 算 式

拡幅桁(C) $\frac{\{ (0.009 + 0.060) \times 2 + 0.232 + 0.063 \} \times 2 \times 3.850}{\text{H-250} \times 125 \times 6 \times 9 \text{の全長}} + \frac{(0.125 \times 0.009 \times 2 + 0.232 \times 0.006) \times 2}{\text{端部}} - \frac{0.100 \times 0.225}{a} = 3.3 \text{ m}^2$

＜拡幅桁D配置図＞

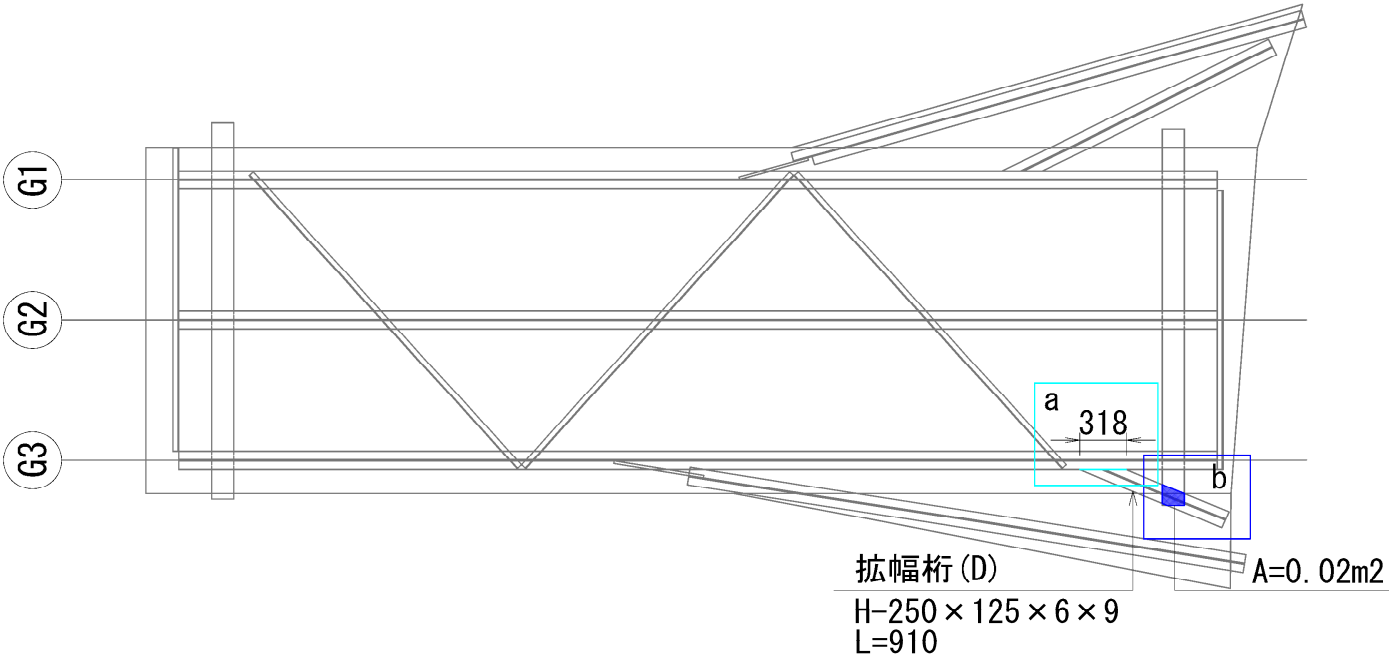


＜拡幅桁D詳細図＞



拡幅桁(D)
H-250×125×6×9
L=910

＜拡幅桁D接地面配置図＞

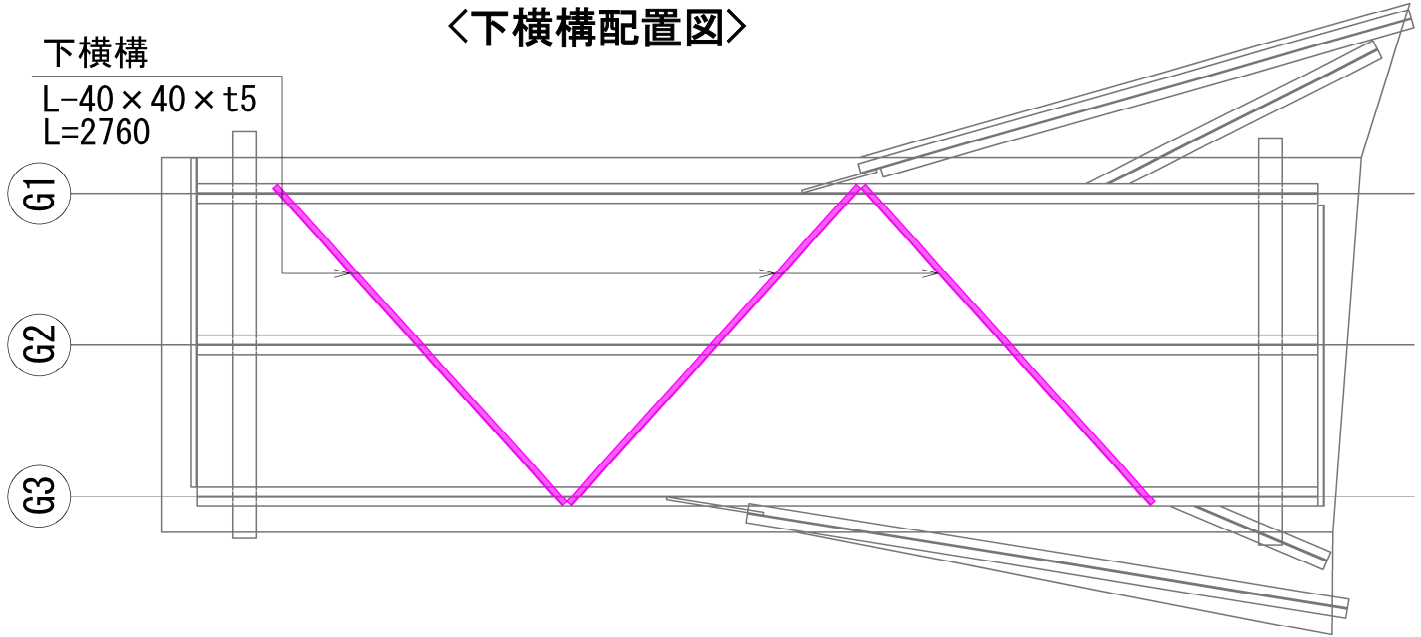


計 算 式

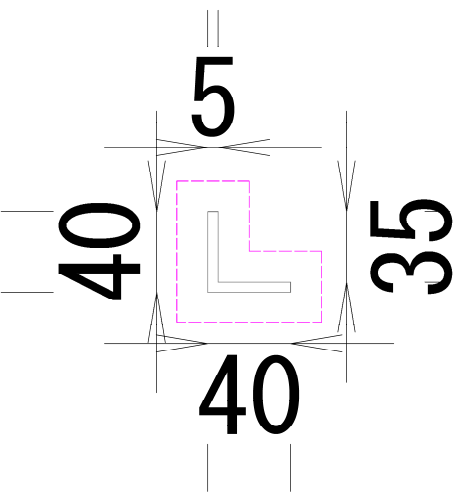
拡幅桁(D)
$$\frac{\{ (0.009 + 0.060) \times 2 + 0.232 + 0.063 \} \times 2 \times 0.910}{\text{H-250} \times 125 \times 6 \times 9 \text{の全長}} + \frac{(0.125 + 0.318) \times 0.009 \times 2 + 0.232 \times 0.006 \times 2}{\text{端部}} - \frac{(0.318 \times 0.009 \times 2 + 0.02)}{a \quad b} = 0.8 \text{ m}^2$$

数量計算書（下横構）

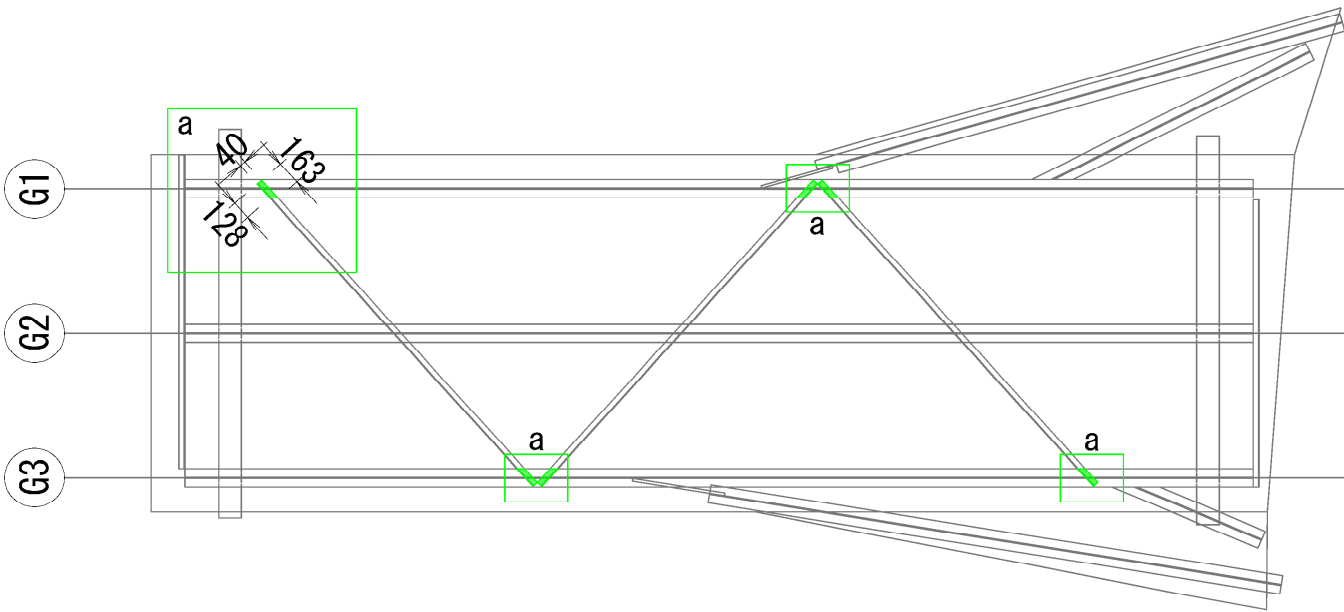
＜下横構配置図＞



＜下横構詳細図＞



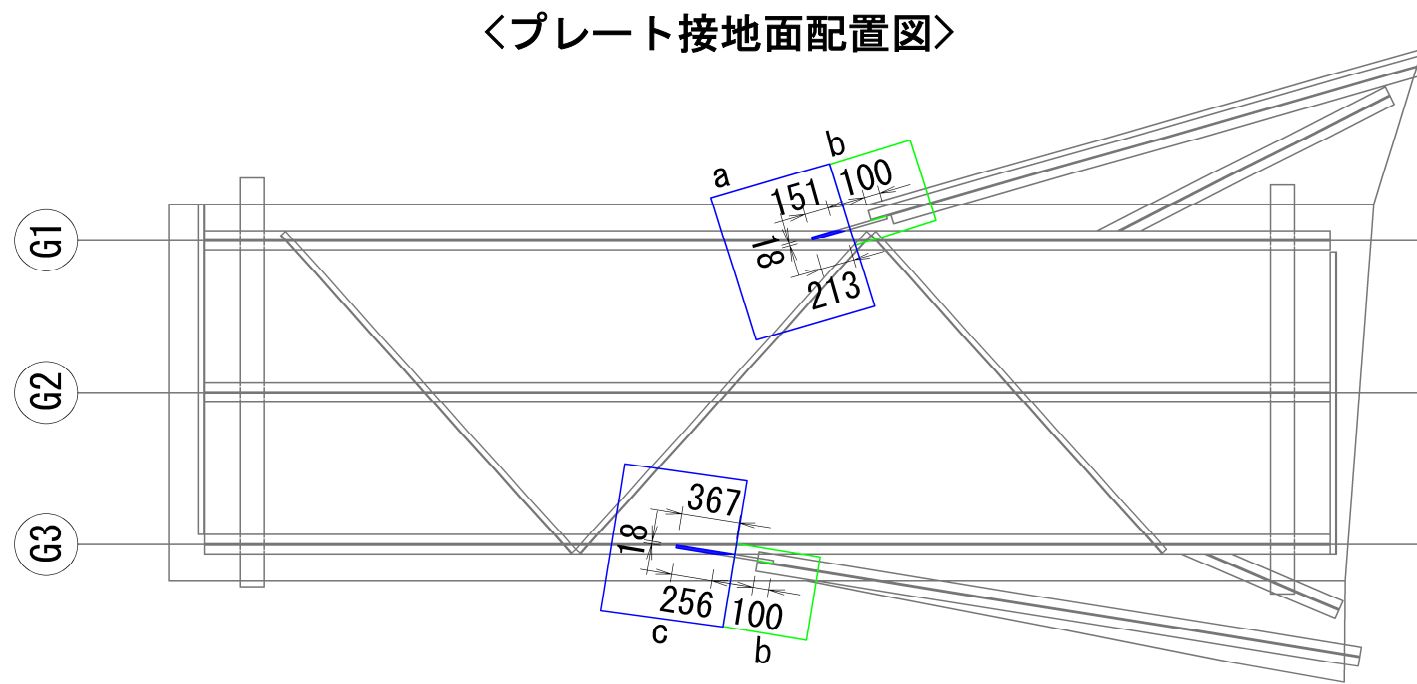
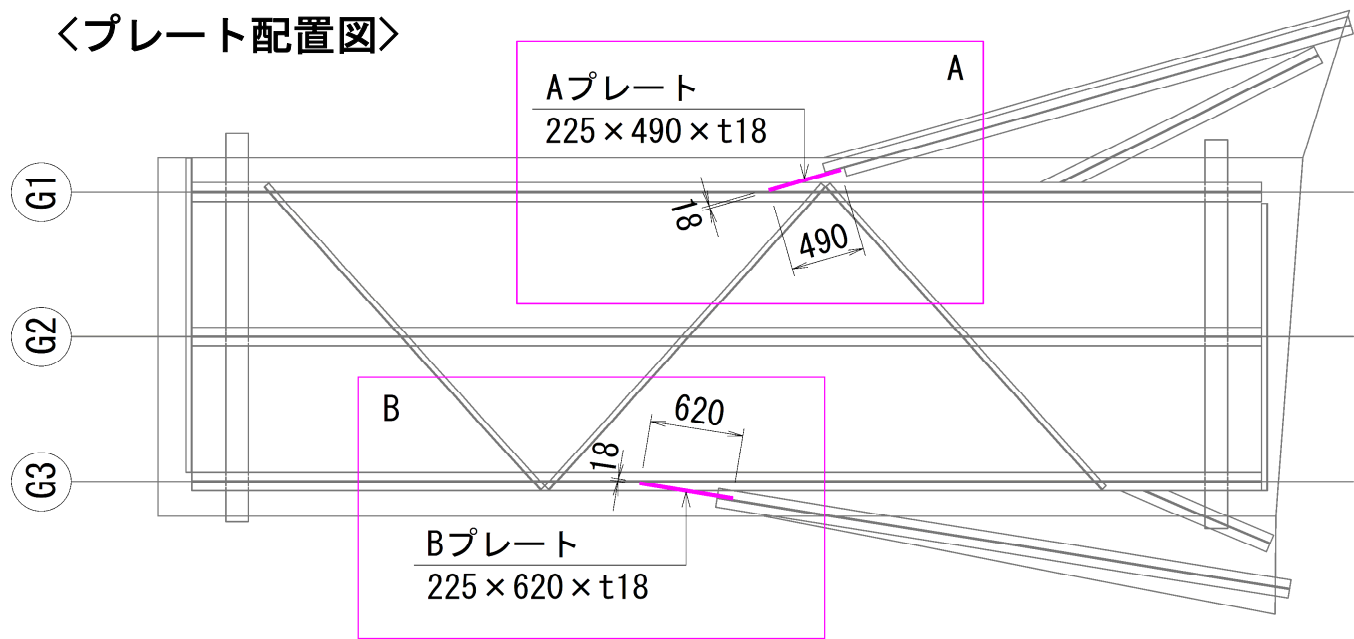
＜下横構接地面配置図＞



計 算 式

下横構 $\frac{\{(0.005 + 0.035 + 0.040) \times 2\} \times 2.760 \times 3}{L=40 \times 40 \times t5 \text{の全長}} + \frac{\{(0.040 + 0.035) \times 0.005 \times 2\} \times 3}{\text{端部}} - \frac{\{(0.163 + 0.128) \times 1/2 \times 0.040\} \times 6}{a} = 1.3 \text{ m}^2$

数量計算書（プレート）

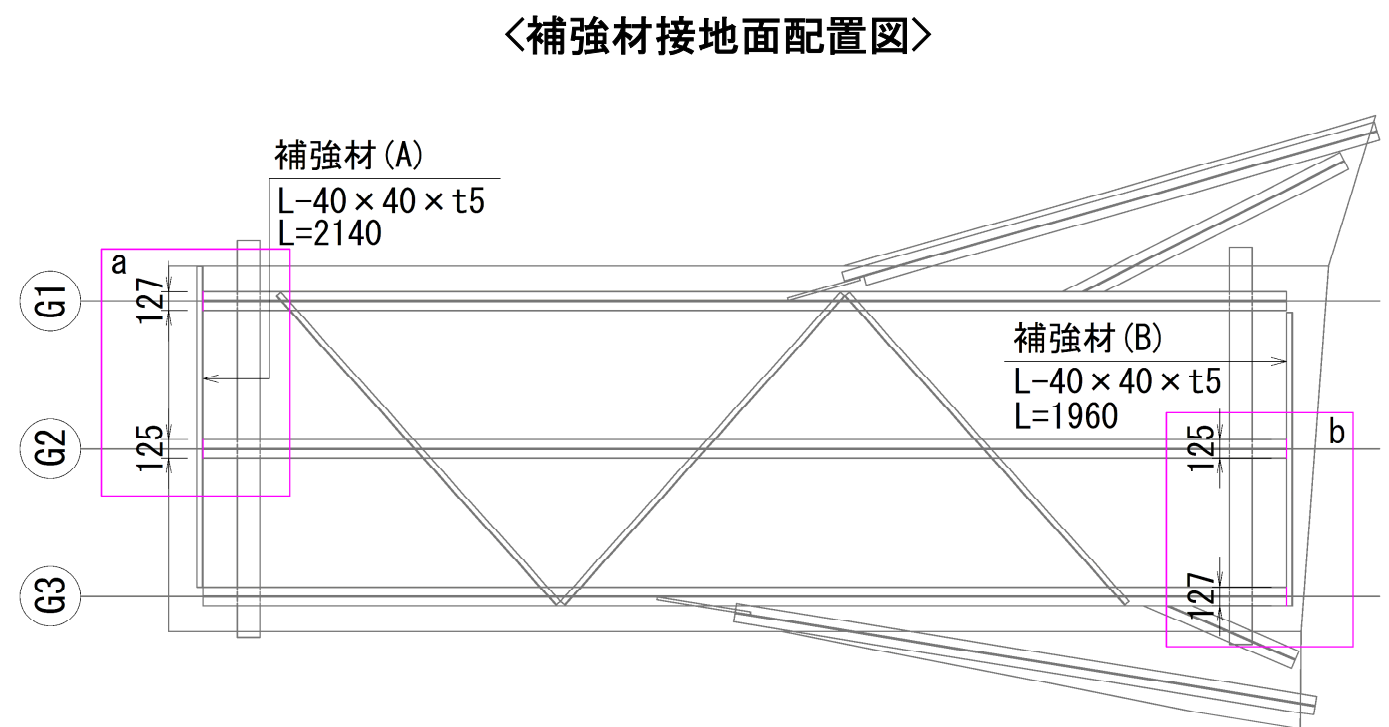
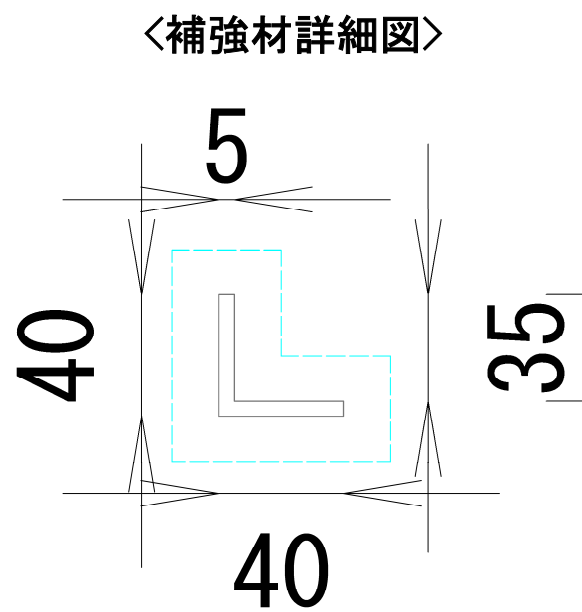
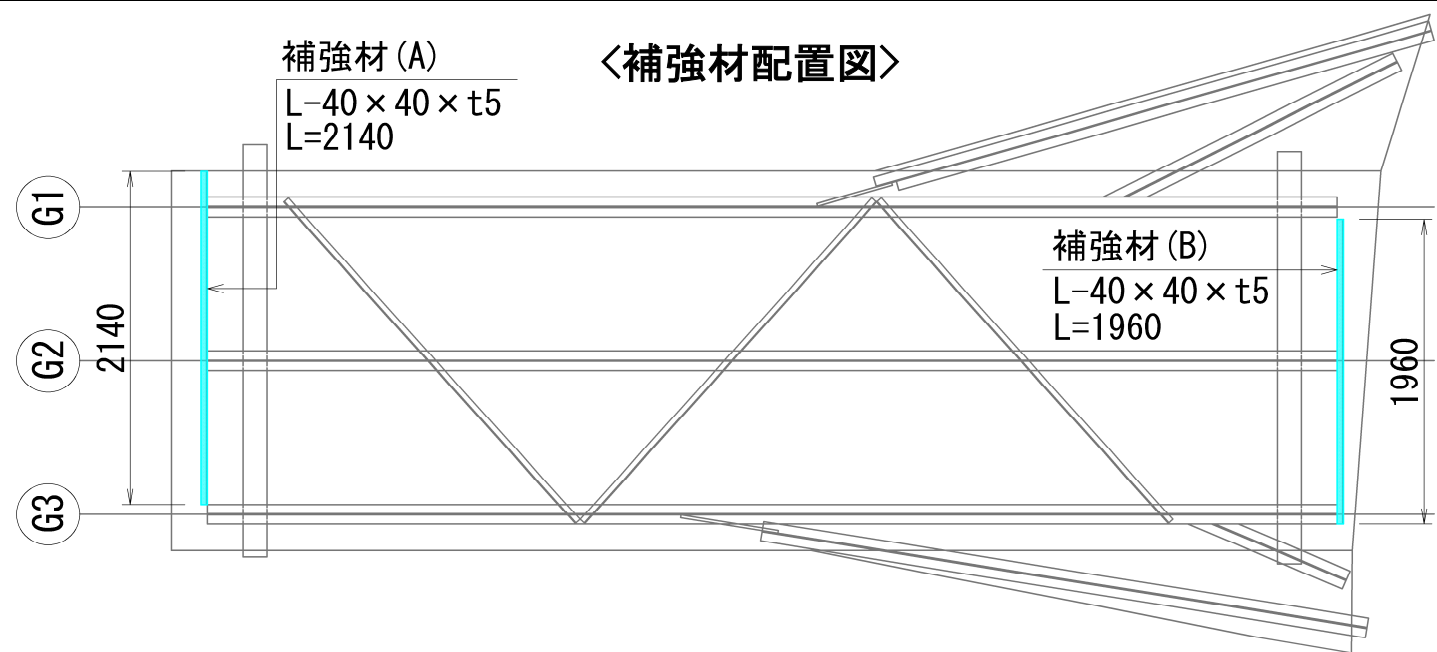


計算式

プレート $\frac{0.225 \times 0.490 \times 2}{\text{Aプレート}} + \frac{(0.225 \times 2 + 0.490) \times 0.018}{\text{Aプレート側面}} + \frac{0.225 \times 0.620 \times 2}{\text{Bプレート}} + \frac{(0.225 \times 2 + 0.620) \times 0.018}{\text{Bプレート側面}} - \left[\frac{(0.151 + 0.213) \times 0.5}{a} + \frac{(0.367 + 0.256) \times 0.5}{c} \right] \times 0.018$

+ $\frac{0.100 \times 0.225 \times 2}{b} = 0.6 \text{ m}^2$

数量計算書（補強材）

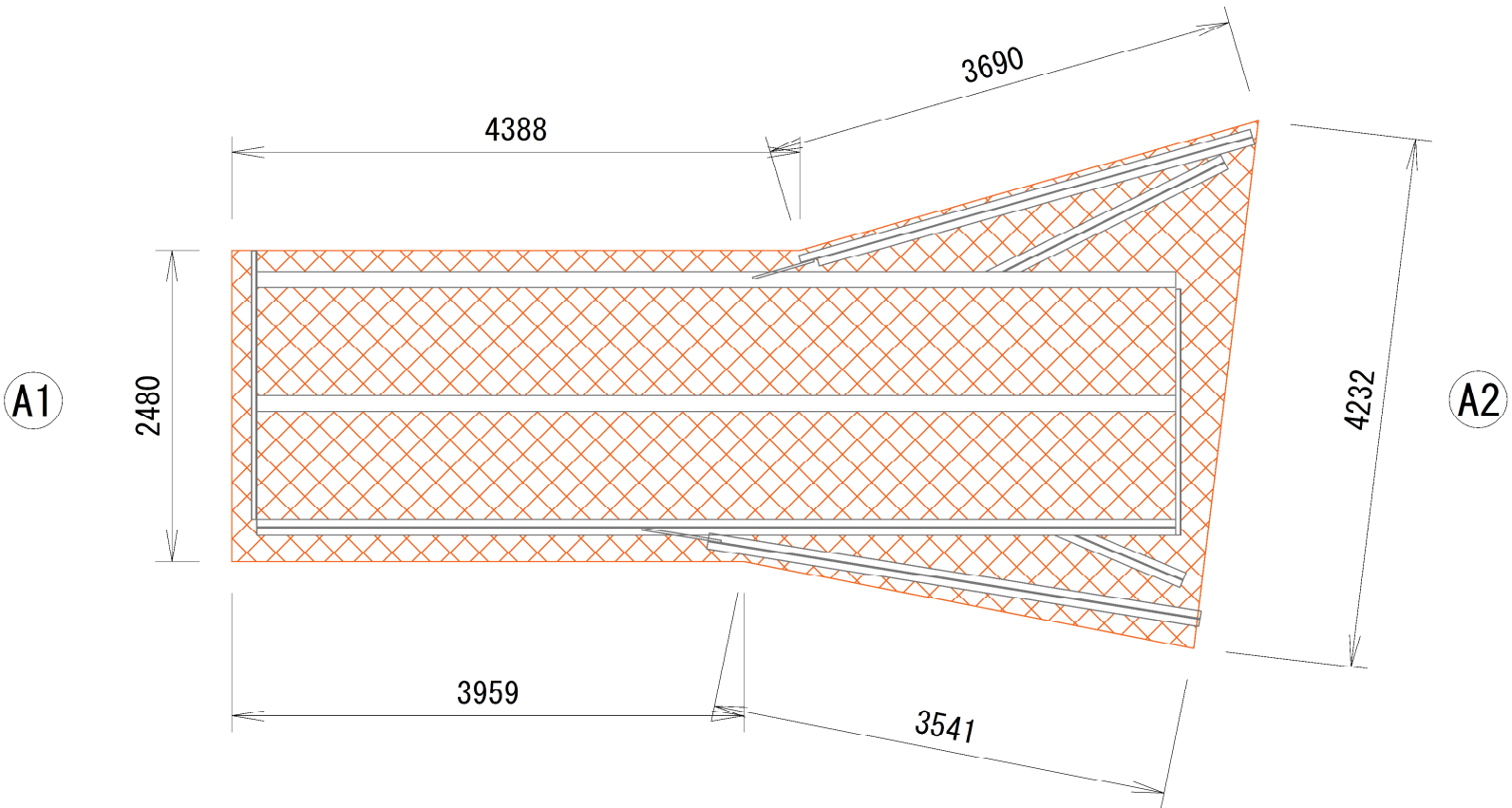


計 算 式

補強材 (A) $\frac{\{ (0.005 + 0.035) \times 2 + 0.040 \} \times 2.140}{\text{L-40} \times 40 \times \text{t5の全長}} + \frac{\{ (0.040 + 0.035) \times 0.005 \} \times 2}{\text{端部}} - \frac{0.127 \times 0.014 + 0.125 \times 0.009}{a} = 0.3 \text{ m}^2$

補強材 (B) $\frac{\{ (0.005 + 0.035) \times 2 + 0.040 \} \times 1.960}{\text{L-40} \times 40 \times \text{t5の全長}} + \frac{\{ (0.040 + 0.035) \times 0.005 \} \times 2}{\text{端部}} - \frac{0.127 \times 0.014 + 0.125 \times 0.009}{b} = 0.2 \text{ m}^2$

＜縞鋼板塗装面積 (CAD計測)＞



計 算 式

■ 縞鋼板 (CAD計測) $A=22.0+17.9+1.0=40.9\text{m}^2$
橋面+下面+側面